

区001	項目名	一般事業工事費		
主要な施策	一般事業費	ページ	51	所 属 名
年度	H26	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
土地区画整理費特別会計		【問合せ先】管理係 0857-20-3277 【9次総の施策体系】4201		
款	区画整理費	【予算計上の概要】 予算事業別概要目次 当初予算・P308(区001)		
項	千代水第二土地区画整理費	【事業の概要】 当地区は中心市街地及び港湾、空港等に近接し、広域的な交通条件に恵まれていることから、流通業務拠点地区として位置づけられている。こうした当地区の立地条件を活かして、本市における産業・業務機能及び流通機能により一層の強化と、既存集落の住環境の保全に配慮した計画的な公共施設の整備を行い、有効な土地利用の実現を図る。		
目	区画整理事業費	事業計画決定 平成8年12月6日(公告の日) 換地処分(公告の日) 平成25年2月26日 事業期間 H8~H29 施行区域面積 80.2ha		
(単位:千円)		【事業の成果】 道路・公園敷地・宅地造成等すべての工事が完了した。		
当初予算額	47,657	千代水公園整備工事 9,748千円 画地調査業務等 5,169千円 公共下水道受益者負担金 17,264千円 保留地処分媒介手数料等 3,066千円 事務費等 882千円		
補正予算額	△7,520	【今後の課題・方向性】 保留地販売及び管理業務、換地処分に伴う清算事務、画地調査業務等を進めていく。		
予算流・充用額	0	※その他財源のうち、諸収入は、保留地払下収入。その他は、前年度繰越金。		
最終予算額	40,137	【事業の成果】 道路・公園敷地・宅地造成等すべての工事が完了した。		
本年度決算額	36,129	千代水公園整備工事 9,748千円 画地調査業務等 5,169千円 公共下水道受益者負担金 17,264千円 保留地処分媒介手数料等 3,066千円 事務費等 882千円		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 保留地販売及び管理業務、換地処分に伴う清算事務、画地調査業務等を進めていく。		
財源内訳	国・県支出金 0	※その他財源のうち、諸収入は、保留地払下収入。その他は、前年度繰越金。		
	地方債 0			
	その他 36,129			
	一般財源 0			
	計 36,129			
(参考)	前年度決算額 66,569	評価結果 保留地販売及び管理業務、換地処分に伴う清算事務、画地調査業務等を進めていく。		

区002	項目名	一般事業工事費		
主要な施策	一般事業費	ページ	51	所 属 名
年度	H26	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
土地区画整理費特別会計		【問合せ先】管理係 0857-20-3277 【9次総の施策体系】4201		
款	区画整理費	【予算計上の概要】 予算事業別概要目次 当初予算・P308(区002)		
項	江津土地区画整理費	【事業の概要】 当地区は、昭和48年に国道9号線が同地内を通過し、昭和50年に県立中央病院が現在の位置に移転し、さらに袋川で分断された浜坂地区とを結ぶ県道鳥取砂丘線の開通により、近年市街化が進みつつある地域である。		
目	区画整理事業費	(都)宮下十六本松線の道路改良と併せて、鳥取市の土地利用計画に適合した幹線道路・公園等の公共施設整備及び住宅地整備を行い有効な土地利用の増進を図る。		
(単位:千円)		事業計画決定 平成18年2月8日(公告の日) 換地処分 平成27年4月(予定) 事業期間年度 H17~H31(H27より清算期間) 施行区域面積 約10.1ha		
当初予算額	36,331	【事業の成果】 道路・公園・宅地造成等すべての工事が完了し平成26年度に換地計画・換地処分業務を実施・完了した。		
補正予算額	△18	区画道路築造工事 2,555千円 換地計画・換地処分業務等 29,013千円 保留地処分媒介手数料等 1,548千円 物件移転補償(2件) 2,404千円 事務費等 493千円		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 換地処分に伴う清算事務、保留地販売・管理業務等を進めていく。		
最終予算額	36,313	※その他財源のうち、諸収入は、保留地払下収入。その他は、前年度繰越金。		
本年度決算額	36,013			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 36,013			
	一般財源 0			
	計 36,013			
(参考)	前年度決算額 24,080	評価結果 保留地の売却および清算事務を促進していく。		

区003	項目名	長期借入金元金償還金
------	-----	------------

主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	51
-------	------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	土地区画整理費特別会計
款	公債費
項	公債費
目	元金

【問合せ先】管理係 0857-20-3277

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の概要】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P309（区004）

【事業の概要】  
 長期借入金元金償還金を土地区画整理費特別会計で支出する。

【事業の成果】  
 元金償還金  
 平成24年度 157,670千円  
 平成25年度 155,737千円  
 平成26年度 155,680千円

【今後の課題・方向性】  
 保留地処分を促進し、起債償還（元金）に充当する。

(単位：千円)

当初予算額	155,681
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	155,681	その他財源の内訳	
本年度決算額	155,680	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	155,680
計	155,680

(参考)

前年度決算額	155,737
--------	---------

評価結果	引き続き、起債償還（元金）に向け、事業を促進していく。
------	-----------------------------

区004	項目名	長期借入金利子償還金
------	-----	------------

主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	51
-------	------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	土地区画整理費特別会計
款	公債費
項	公債費
目	利子

【問合せ先】管理係 0857-20-3277

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の概要】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算P310（区005）

【事業の概要】  
 長期借入金利子償還金を土地区画整理費特別会計で支出する。

【事業の成果】  
 利子償還金  
 平成24年度 20,759千円  
 平成25年度 18,094千円  
 平成26年度 15,316千円

【今後の課題・方向性】  
 保留地処分を促進し、起債償還（利子）に充当する。  
 ※その他財源のその他は、前年度繰越金。

(単位：千円)

当初予算額	15,257
補正予算額	60
予算流・充用額	0

最終予算額	15,317	その他財源の内訳	
本年度決算額	15,316	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	50

区分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	50
一般財源	15,266
計	15,316

(参考)

前年度決算額	18,094
--------	--------

評価結果	引き続き、起債償還（利子）に向け、事業を促進していく。
------	-----------------------------

簡001	項目名	水道管移設工事費		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	簡易水道費	【9次総の施策体系】4201		
項	簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P311（簡001）、6月補正予算・P91（簡001）		
目	簡易水道管理費	【事業の概要】 1. 明治簡易水道配水管移設工事 鳥取県が施工する県道改良工事に伴い支障となる配水管等の移設工事。 2. 『国道9号線鳥取西道路事業』に伴う気高鹿野地域配水管移設工事 国土交通省が施工する国道9号線鳥取西道路建設に伴い支障となる配水管の移設工事。 3. 百谷地内配水管移設工事 鳥取県が施工する県道「鳥取福部線改良工事」に伴い支障となる配水管の移設工事。		
(単位：千円)		【事業の成果】 1. 明治簡易水道配水管移設工事 H27年度に実施(当初予算額 1,575千円) 2. 『国道9号線鳥取西道路事業』に伴う気高鹿野地域配水管移設工事 (翌年度繰越額 15,027千円) 3. 百谷地内配水管移設工事 決算額1,042千円		
当初予算額	48,350	【今後の課題・方向性】 今後も県道・国道を随時整備中であり、移設工事も出てくることが想定されるため、移 転が必要となることが判明しだい、早急に対応していきたい。		
補正予算額	△ 32,280	※その他財源の諸収入は、移設補償費		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	16,070	評価結果	今後も、移設工事は随時出てくると思われるが、適切に対応し、住民へ支障のないように早急に対応していきたい。	
本年度決算額	1,042	【参考】		
区分	決算額	前年度決算額 80,571		
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 100			
	その他 879			
	一般財源 63			
	計 1,042			

簡002	項目名	施設維持管理費		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	簡易水道費	【9次総の施策体系】4201		
項	簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P331（簡002）、12月補正予算・P53（簡001）		
目	簡易水道管理費	【事業の概要】 施設の修繕や水質検査等、簡易水道施設の効率的な維持管理を行い、安心安全な水道水の供給に努めた。		
(単位：千円)		【事業の成果】 〈現在の管理施設〉 鳥取市本庁管内 18施設 国府町総合支所管内 14施設 福部町総合支所管内 3施設 用瀬町総合支所管内 9施設 佐治町総合支所管内 12施設 気高町総合支所管内 6施設 鹿野町総合支所管内 6施設 青谷町総合支所管内 6施設 〈過去3年の実績〉 平成24年度 193,242千円 平成25年度 172,656千円 平成26年度 169,467千円		
当初予算額	166,214	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化に伴う修繕箇所が増加しており、施設改修の必要がある。施設統合も視野に入れ、効率的な管理を目指す。		
補正予算額	5,909	※その他財源の諸収入は、消費税還付金等 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	172,123	評価結果	簡易水道事業の維持管理は安全・安心な水道水を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当たっては維持管理のコスト、努力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。	
本年度決算額	169,467	前年度決算額 172,656		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 169,467			
	一般財源 0			
	計 169,467			

簡003	項目名	量水器取替費		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P312（簡003）			
目 簡易水道管理費	【事業の概要】 計量法により水道メーターは特定計量器に定められ、特定計量器は計量法施行令で検定認証印等の有効期限が8年と定められており、8年ごとに交換する必要がある。 このため、有効期限が満了する水道メーターを交換した。			
(単位：千円)	【事業の成果】 ＜過去3年の実績＞ 平成24年度 3,933千円（957件） 平成25年度 3,417千円（684件） 平成26年度 5,941千円（1,312件）			
当初予算額	6,059	【今後の課題・方向性】 現在設置されている水道メーターについては有効期限の状況を把握し、順次取替えを行う。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	6,059	評価結果		
本年度決算額	5,941	現在設置されている水道メーターについては有効期限の状況を把握し、順次取替えを行う。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		現在設置されている水道メーターについては有効期限の状況を把握し、順次取替えを行う。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	5,941			
一般財源	0			
計	5,941			
(参考)				
前年度決算額	3,416			

簡004	項目名	簡易水道事業統合推進費		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P312（簡004）			
目 簡易水道管理費	【事業の概要】 上水道事業との事業統合へ向け、簡易水道事業統合計画書に沿った移行業務を計画的に行っており、本年度は水道施設等の資産調査・情報ハイウェイ接続に係る水道局への経費負担を行った。			
(単位：千円)	【事業の成果】 ＜過去3年の実績＞ 平成24年度 6,456千円 平成25年度 22,215千円 平成26年度 18,193千円			
当初予算額	18,802	【今後の課題・方向性】 引き続き平成29年度水道局移管に向け、移行業務を推進したい。		
補正予算額	△80			
予算流・充用額	0			
最終予算額	18,722	評価結果		
本年度決算額	18,193	引き続き上水道事業との事業統合へ向け、簡易水道事業統合計画書に沿った移行業務を計画的に推進していきたい。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		引き続き上水道事業との事業統合へ向け、簡易水道事業統合計画書に沿った移行業務を計画的に推進していきたい。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	9,096			
一般財源	9,097			
計	18,193			
(参考)				
前年度決算額	22,215			

簡005	項目名	蔵見上野簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P313（簡005）			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 上野地域は鳥取、福部、国府の境界に位置し、水道未普及地域であることや、水利に恵まれない等の理由から簡易水道整備について強い要望があり、鳥取市第8次総合計画において整備が計画されているものである。 平成22年度に水源調査、認可申請、詳細設計を行い、平成23年度より厚生労働省国庫補助事業で、隣接する蔵見簡易水道の給水区域の拡張整備を行う。 〈事業期間〉平成22年度～平成33年度			
(単位：千円)	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式			
当初予算額 48,174	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。			
補正予算額 △1,295	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。			
最終予算額 46,879	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式			
本年度決算額 41,822	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。			
区分	決算額	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式		
財源内訳	国・県支出金 11,842	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。		
	地方債 21,900	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式		
	その他 8,007	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。		
	一般財源 73	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・取水施設 1式                      ・配水管 L=555m ・測量設計 1式                      ・補償費 1式		
	計 41,822	【今後の課題・方向性】 平成29年度の水道局移管以降に、上野地域と隣接している蔵見地区簡易水道と配水管接続し統合することにより、安定した水道の供給と効率化を計画している。		
(参考)	評価結果			
前年度決算額 118,818	上野地区の水道事業は平成26年度で完了し、水道未普及状態は改善された。今後は、老朽化の進んでいる蔵見簡易水道への配水管接続により、蔵見上野一体化としての水道運営を目指す。			

簡006	項目名	宇倍野簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P313（簡006）、6月補正予算・P92（簡003）			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 国府地区は2系統の水源で給水しており、山崎水源系統は平成15年に認可後、水源、浄水場、配水池、配水管等を整備してきた。一方玉鉾水源系統の配水池は設置後50年が経過し老朽化しており、管理道のない山頂に築造されているため、維持管理の問題を残している。このため、配水池を別用地に新設し、併せて送水ポンプ・送水管・連絡配水管を整備し、飲用水の安定供給と維持管理費の低減を図る。 〈事業期間〉平成22年度～平成29年度			
(単位：千円)	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務			
当初予算額 9,025	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。			
補正予算額 △378	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。			
最終予算額 8,647	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務			
本年度決算額 6,840	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。			
区分	決算額	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務		
財源内訳	国・県支出金 359	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。		
	地方債 6,400	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。		
	一般財源 81	【事業の成果】 〈平成26年度〉 ・用地交渉旅費 (翌年度繰越額 105千円) 1,679千円 ・用地測量業務 3,879千円 ・水源池改修基本計画作成業務 ・裁決申請図書等作成業務 (翌年度繰越額1,002千円) 401千円 ・財産管理人選任申立・就任業務 200千円 ・事業認定本申請図書修正業務 144千円 ・相続証明書ほか作成業務 158千円 ・土地収用法に基づく事業認定手数料 43千円 ・不動産鑑定評価業務		
	計 6,840	【今後の課題・方向性】 新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。		
(参考)	評価結果			
前年度決算額 2,105	新設の配水池の用地取得が急務である。また、地元管理の水道組合としてはかなり供給区域が広いので、統合後の事務調整等が必要である。			

簡007	項目名	江波簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P314（簡007）、6月補正予算・P92（簡004）			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 江波地区の水道施設は、昭和46年の創設以来40年が経過し老朽化が進んでいるため、 損傷が激しい施設から随時施設の更新を進めている。現在取水口、ろ過池の整備が完了 しており、老朽化した配水池および集落内配水管の更新を行う。 この更新により清浄にして豊富低廉な水の安定供給をはかり、生活環境の向上に寄与 する。 ＜事業期間＞平成23年度～平成27年度			
(単位：千円)	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
当初予算額 67,642	江波簡易水道取水施設改修ほか工事 (翌年度繰越額 4,200千円)			
補正予算額 6,700	【今後の課題・方向性】 平成27年度繰越事業にて、整備完了したい。			
予算流・充用額 0	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
最終予算額 74,342	江波簡易水道取水施設改修ほか工事 (翌年度繰越額 4,200千円)			
本年度決算額 60,570	【今後の課題・方向性】 平成27年度繰越事業にて、整備完了したい。			
区分 決算額	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
財源内訳	江波簡易水道取水施設改修ほか工事 (翌年度繰越額 4,200千円)			
国・県支出金 15,800	【今後の課題・方向性】 平成27年度繰越事業にて、整備完了したい。			
地方債 27,300	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
その他 17,470	江波簡易水道取水施設改修ほか工事 (翌年度繰越額 4,200千円)			
一般財源 0	【今後の課題・方向性】 平成27年度繰越事業にて、整備完了したい。			
計 60,570	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
(参考)	【今後の課題・方向性】 平成27年度繰越事業にて、整備完了したい。			
前年度決算額 92,413	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・配水管 L=1,076m ・給水箇所 36箇所			
評価結果	江波地区の水道施設は、老朽化が進んでおり、早急に整備を行い豊富低廉な水の安定供給を図りたい。			

簡008	項目名	福部地域簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P314（簡008）			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 福部地域の『湯山簡易水道』『福部中央簡易水道』内の複数の水源水質が悪化してお り、これら2簡易水道を上水道の丸山系統に編入するため、年次的に整備を行う。福部 地域には大規模観光地があり、水質悪化が鳥取市に与える影響が甚大であるため、施工 優先順位は応急給水を可能にする管路を優先する。 ＜事業期間＞平成23年度～平成29年度			
(単位：千円)	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
当初予算額 228,626	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
補正予算額 △15,149	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
最終予算額 213,477	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
本年度決算額 210,507	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
区分 決算額	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
財源内訳	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
国・県支出金 0	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
地方債 210,500	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
その他 0	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
一般財源 7	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
計 210,507	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
(参考)	【今後の課題・方向性】 水道局移管後、すみやかに上水道丸山系統へ編入したい。			
前年度決算額 81,898	【事業の成果】 ＜平成26年度＞ ・送水施設 L=534.2m ・配水池 V=381m <sup>3</sup> ・配水管 L=759.3m ・測量設計費 1式 ・用地費 1式 ・補償費 1式 ・水道局への事務委任			
評価結果	引き続き年次的に整備を行いたい。			

簡009	項目名	口佐治簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	簡易水道費	【9次総の施策体系】4201		
項	簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P93（簡005）		
目	簡易水道建設費	【事業の概要】 当簡易水道施設は、昭和54年度に更新整備され、平成13年度に水源を整備した、現在給水人口677人、給水戸数209戸の市管理の簡易水道である。口佐治に隣接する葛谷、小原地区は変更認可を得て給水区域に編入されているが、施設整備がされないままになっており、当地区は水道未普及地域となっている。 〈事業期間〉平成26年度～平成28年度		
(単位：千円)		【事業の成果】 口佐治簡易水道整備事業に伴う測量等設計業務 (翌年度繰越額 13,972千円)		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 未普及地域の解消に向けて、早期に水道設備の整備を推進する必要がある。		
補正予算額	17,972			
予算流・充用額	0			
最終予算額	17,972	【評価結果】 未普及地域であり早期水道接続に向けて事業を推進していく。		
その他財源の内訳				
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	0			
その他	0			
本年度決算額	4,000			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	4,000		
	その他	0		
	一般財源	0		
	計	4,000		
(参考)	前年度決算額	0		

簡010	項目名	津無簡易水道整備事業費		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	簡易水道費	【9次総の施策体系】4201		
項	簡易水道費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P93（簡006）		
目	簡易水道建設費	【事業の概要】 当簡易水道施設は、昭和33年度に創設され、現在給水人口137人、給水戸数52戸の地元管理の簡易水道である。配水管の一部は後年度の集落排水工事に伴い随時布設替えされてきたが、水源、浄水場、送水管、配水池等は老朽化が進行し、近年は故障・漏水等も相次いでおり劣悪な状況である。佐治の中でも改修整備を急ぐ必要性が高い施設であり、地元の改修希望も強い。また、他の簡易水道とは1km程度離れ、土地の高低の起伏も大きく、統合よりも単独整備が経済的で適切と考えられる。湧水が比較的豊富な地域であり、新規水源にはこれを利用することも含めて検討していく。 〈事業期間〉平成26年度～平成28年度		
(単位：千円)		【事業の成果】 〈平成26年度〉 水源調査（ボーリング調査）業務 (翌年度繰越額 17,352千円)		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成27年度の早い時期に事業に着手したい。		
補正予算額	22,462			
予算流・充用額	0			
最終予算額	22,462	【評価結果】 平成29年度水道局移管までに整備完了したい。		
その他財源の内訳				
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	0			
その他	0			
本年度決算額	5,110			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	5,110		
	計	5,110		
(参考)	前年度決算額	0		

簡011	項目名	明治豊実簡易水道整備事業費																																				
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名																																		
年度	H26	農林水産部 農村整備課																																				
会計名	簡易水道事業費特別会計																																					
款	簡易水道費																																					
項	簡易水道費																																					
目	簡易水道建設費																																					
(単位：千円)																																						
当初予算額	238,564	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P315 (簡009) 【事業の概要】 鳥取市簡易水道事業において、平成28年度末に上水道事業へ事業統合することが決定し、整備方法について鳥取市水道局と協議を行っている。そのなかで一部の簡易水道を管路接続することにより水源を削減でき、今後の維持管理等に効率的になることが明確となった。これより、上水道給水区域へ直接接続可能な簡易水道等施設のうち大塚、上原、上段、下段、尾崎について連絡配水管を整備し、飲料水の安定供給と維持管理費の低減を図るものである。 <事業期間> 平成25年度～平成28年度 【事業の成果】 <平成26年度> ・配水管 L=3246.2m ・給水管65箇所 ・測量設計費 1式 ・水道局への事務委任 【今後の課題・方向性】 平成29年度水道局移管後に上水道と接続を予定している。																																				
補正予算額	△ 14,547																																					
予算流・充用額	0																																					
最終予算額	224,017																																					
本年度決算額	214,853	<b>評価結果</b> 上水道との接続によって、効率的で安定した水道の供給ができ、年次的に連絡配水管の延長を進めている。																																				
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>47,288</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>158,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,707</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>658</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>214,853</td> </tr> </table>		区分	決算額	国・県支出金	47,288	財源内訳		地方債	158,200	その他	8,707	一般財源	658	計	214,853	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>8,707</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	8,707	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
区分	決算額																																					
国・県支出金	47,288																																					
財源内訳																																						
地方債	158,200																																					
その他	8,707																																					
一般財源	658																																					
計	214,853																																					
その他財源の内訳																																						
分担金	0																																					
負担金	8,707																																					
使用料	0																																					
手数料	0																																					
財産収入	0																																					
寄付金	0																																					
繰入金	0																																					
贈収入	0																																					
その他	0																																					
(参考)		前年度決算額 161,561																																				

簡012	項目名	鬼入道飲料水供給施設整備事業費																																				
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名																																		
年度	H26	農林水産部 農村整備課																																				
会計名	簡易水道事業費特別会計																																					
款	簡易水道費																																					
項	簡易水道費																																					
目	簡易水道建設費																																					
(単位：千円)																																						
当初予算額	94,000	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P315 (簡010) 【事業の概要】 現在、鬼入道飲料水供給施設では、1水源、1配水池で、鬼入道集落19戸、二ツ家集落3戸に給水している。湧水を水源とするこの飲料水供給施設は、滅菌設備等基本的な施設は整備されているものの、送水管の老朽化、取水不良、生活様式の変化に伴う使用水量増加による慢性的な水不足に陥っている。また、特に夏場の水量確保が難しく渇水に陥りやすく、市民生活に支障をきたしている状況である。 この為、合併前より地域住民からは早期の水道施設整備の要望が提出されており、衛生的で安定した飲料水の供給が急務となっている。 <事業期間> 平成25年度～平成28年度 【事業の成果】 鬼入道水源調査および報告書作成業務 2,190千円 鬼入道飲料水供給施設整備工事に伴う測量設計業務 (翌年度繰越額 12,442千円) 【今後の課題・方向性】 平成29年度水道局移管までに整備統合したい。																																				
補正予算額	△ 79,367																																					
予算流・充用額	0																																					
最終予算額	14,633																																					
本年度決算額	2,190	<b>評価結果</b> できるだけ早期に整備完了したい。																																				
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,190</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,190</td> </tr> </table>		区分	決算額	国・県支出金	0	財源内訳		地方債	0	その他	0	一般財源	2,190	計	2,190	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
区分	決算額																																					
国・県支出金	0																																					
財源内訳																																						
地方債	0																																					
その他	0																																					
一般財源	2,190																																					
計	2,190																																					
その他財源の内訳																																						
分担金	0																																					
負担金	0																																					
使用料	0																																					
手数料	0																																					
財産収入	0																																					
寄付金	0																																					
繰入金	0																																					
贈収入	0																																					
その他	0																																					
(参考)		前年度決算額 7,991																																				

簡013	項目名	長期借入金元金償還金		
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	公債費	【9次総の施策体系】0202		
項	公債費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P316（簡012）		
目	元金	【事業の概要】 簡易水道施設の建設・改修を行い、安心安全な水道水の安定的な供給を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】 簡易水道施設建設、改修に伴う起債借入の償還を行った。 長期借入金償還元金		
当初予算額	264,621	平成24年度 249,574千円		
補正予算額	10	平成25年度 260,425千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 264,631千円		
最終予算額	264,631	【今後の課題・方向性】 上水道と直接接続するなど、合理的な整備を行い、起債借入の削減に努めたい。		
本年度決算額	264,631	【参考】		
区分	決算額	前年度決算額 260,425		
財源内訳	国・県支出金 0	評価結果		
	地方債 0	簡易水道事業の維持管理は安全・安心な水道水を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当たっては維持管理のコスト、労力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。		
	その他 96,169			
	一般財源 168,462			
計	264,631			

簡014	項目名	長期借入金利子償還金		
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	53	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246		
款	公債費	【9次総の施策体系】0202		
項	公債費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P317（簡013）		
目	利子	【事業の概要】 簡易水道施設の建設・改修を行い、安心安全な水道水の安定的な供給を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】 簡易水道施設建設、改修に伴う起債借入の償還を行った。 長期借入金償還金利子		
当初予算額	115,998	平成24年度 114,131千円		
補正予算額	△3,476	平成25年度 112,970千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 112,519千円		
最終予算額	112,522	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化に伴う修繕箇所が増加しており、施設改修の必要がある。施設統合も視野に入れ、効率的な管理を目指す。		
本年度決算額	112,519	※その他財源の諸収入は、償還に伴う地元負担金		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 42,240			
	一般財源 70,279			
計	112,519			
前年度決算額	112,970	評価結果		
		簡易水道事業の維持管理は安全・安心な水道水を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当たっては維持管理のコスト、労力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。		

公001	項目名	業務委託費		
主要な施策	管理運営費等	ページ	55	所 属 名
年度	H26	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	公設地方卸売市場事業費特別会計			
款	市場費			
項	市場管理費			
目	市場管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	28,433			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	28,433			
本年度決算額	28,433			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	28,433		
	一般財源	0		
	計	28,433		
(参考)	前年度決算額	27,887		
評価結果	鳥取市の生鮮食料品の流通拠点である公設市場において、取引の適正化及び流通の円滑化を図るため、今後も指定管理者による管理運営を行う。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222				
【9次総の施策体系】5103				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P318(公001)				
【事業の概要】 公設地方卸売市場の業務を指定管理者に委託することにより民間活力の活用による効果的かつ効率的な施設運営を行い、もって市民生活の安定に資する事を目的とする。 施設管理業務委託(委託先:(協)鳥取総合食品卸売市場)				
【事業の成果】《指定管理料》 平成24年度 27,866千円 平成25年度 27,887千円 平成26年度 28,433千円				
【今後の課題・方向性】 本市の生鮮食料品の流通拠点である市場において、取引の適正化及び流通の円滑化を図るため、今後も指定管理者による管理運営を行う。				

公002	項目名	施設整備費		
主要な施策	管理運営費等	ページ	55	所 属 名
年度	H26	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	公設地方卸売市場事業費特別会計			
款	市場費			
項	市場管理費			
目	市場管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	101,837			
補正予算額	△11,056			
予算流・充用額	0			
最終予算額	90,781			
本年度決算額	90,781			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	40,600		
	その他	8,181		
	一般財源	42,000		
	計	90,781		
(参考)	前年度決算額	0		
評価結果	平成27年度に耐震診断を実施し、その結果を踏まえ今後の施設整備の方針を決定する。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222				
【9次総の施策体系】5103				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P318(公002)				
【事業の概要】 公設地方卸売市場の使命である”市民生活の安定に資する安全・安心かつ適正価格の食”を提供するため、老朽化した市場施設に必要な改修等を計画的に実施する。				
【事業の成果】 平成26年度 90,781千円(青果棟及び鮮魚棟屋根改修工事)				
【今後の課題・方向性】 平成27年度に耐震診断を実施し、その結果を踏まえ今後の施設整備の方針を決定する。				
※その他財源のその他は、前年度繰越金				

公003	項目名	市場活性化事業費		
主要な施策	管理運営費等	ページ	55	所 属 名
年度	H26	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	公設地方卸売市場事業費特別会計			
款	市場費			
項	市場管理費			
目	市場管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	500			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	500			
本年度決算額	500			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	500		
	一般財源	0		
	計	500		
【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222				
【9次総の施策体系】 5103				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 319 (公003)				
【事業の概要】 市場に市民を呼び込むイベントを行うことにより、市場の役割等をPRし、市場の活性化を図るため、指定管理者協同組合鳥取総合食品卸売市場が行う活性化イベントに補助する。				
【事業の成果】 (支援額) 平成24年度 500千円 (第1回市場まつり 平成24年11月18日実施) 平成25年度 500千円 (第2回市場まつり 平成25年11月17日実施) 平成26年度 500千円 (第3回市場まつり 平成26年11月16日実施)				
【今後の課題・方向性】 公設市場の役割を市民に紹介し、開かれた市場を目指すため今後も継続して実施する。				
(参考)	前年度決算額	500		
評価結果	引き続き継続して事業を行う。			

公004	項目名	市場機能強化事業費		
主要な施策	管理運営費等	ページ	55	所 属 名
年度	H26	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	公設地方卸売市場事業費特別会計			
款	市場費			
項	市場管理費			
目	市場管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	0			
補正予算額	3,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,000			
本年度決算額	3,000			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,000		
	計	3,000		
【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222				
【9次総の施策体系】 5102				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P 94 (公001)				
【事業の概要】 全国的に卸売市場は、少子高齢化等による社会構造の変化、農水産物の生産構造の脆弱化、食料消費・小売形態の変化や消費者ニーズの多様化等により、卸売市場経由率の低下や取扱数量の減少等の状況にあり、経営が非常に厳しいものとなっている。 そのため、公設地方卸売市場の使命である“市民生活の安定に資する安全・安心かつ適正価格の食”を提供するため、40年経過した市場施設の機能強化等を図る市場事業者に対して支援を行う。 ・補助対象者 指定管理者又は公設卸売市場の卸売業者 ・対象事業 市場の機能強化及び近代化を図る機器・設備の導入事業 ・補助金 1/2、上限3,000千円				
【事業の成果】 公設地方卸売市場鮮魚棟、青果棟のLED照明化				
【今後の課題・方向性】 公設卸売市場の機能強化、機器・設備の近代化事業に対し、必要性、効果等を検討しながら、必要に応じて支援する。				
(参考)	前年度決算額	0		
評価結果	引き続き事業を継続し、補助対象案件が出た場合はその内容を吟味し、必要であれば予算措置を行う。			

駐001	項目名	駐車場管理費			
主要な施策	駐車場管理費	ページ	57	所属名	
年度	H26	都市整備部 都市環境課			
会計名	駐車場事業費特別会計				
款	駐車場費				
項	駐車場管理費				
目	駐車場管理費				
(単位：千円)					
当初予算額	17,453	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】管理係 0857-20-3252 【9次総の施策体系】4201 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P320(駐001) 【事業の概要】 指定管理者制度を導入し、創意と工夫に基づいた維持管理運営における質的向上と効率化を図る。 【事業の成果】 市営幸町駐車場施設維持管理費 指定管理料 8,424千円 公課費 810千円 繰出金 7,945千円 【今後の課題・方向性】 指定管理者と連携し、適切な維持管理を行う。			
補正予算額	0				
予算流・充用額	0				
最終予算額	17,453				
本年度決算額	17,179				
区分	決算額				
財源内訳	国・県支出金				0
	地方債				0
	その他				17,179
	一般財源				0
	計	17,179			
前年度決算額	18,430	評価結果	指定管理者の創意と工夫に基づいた維持管理運営により質的向上と効率化を図る。		

駐002	項目名	駐車場事業基金積立金			
主要な施策	駐車場事業基金積立金	ページ	57	所属名	
年度	H26	都市整備部 都市環境課			
会計名	駐車場事業費特別会計				
款	駐車場費				
項	駐車場管理費				
目	駐車場管理費				
(単位：千円)					
当初予算額	8,895	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】管理係 0857-20-3252 【9次総の施策体系】4201 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P320(駐002) 【事業の概要】 鳥取市駐車場事業基金条例に基づき基金を積み立てることにより、駐車場事業の円滑な推進を図る。 【事業の成果】 駐車場事業基金積立金 平成24年度 7,626千円 平成25年度 6,107千円 平成26年度 13,585千円 【今後の課題・方向性】 今後も施設の適正な維持管理のため、基金を積み立てる。			
補正予算額	4,729				
予算流・充用額	0				
最終予算額	13,624				
本年度決算額	13,585				
区分	決算額				
財源内訳	国・県支出金				0
	地方債				0
	その他				11,756
	一般財源				1,829
	計	13,585			
前年度決算額	6,107	評価結果	今後も施設の適正な維持管理のため、基金を積み立てる。		

国001	項目名	一般被保険者療養給付費		
主要な施策	一般被保険者療養給付費	ページ	61	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費			
項	療養諸費			
目	一般被保険者療養給付費			
(単位:千円)				
当初予算額	10,168,639	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】国民健康保険係 0857-20-3485 【9次総の施策体系】3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P321(国001) 【事業の概要】 国民健康保険の一般被保険者が病気やけがにより保険医療機関で必要な医療を受ける際に現物給付を行うもの。被保険者は一部負担金を負担するのみで療養が可能となる。 【事業の成果】 医療費のうち法令で定める被保険者の一部負担金相当額を控除した額を医療機関に支払うことにより、医療機会の均等化を図った。 療養給付費支出額 平成24年度 10,042,976,350円 平成25年度 9,926,972,074円 平成26年度 10,138,537,698円 【今後の課題・方向性】 高齢化等による医療費の増加が見込まれる中、厳しい財政状況にある国民健康保険においては、医療費の適正化が重要課題となっており、今後、被保険者の重症化予防や健康の保持・増進に努めながら引き続き制度の円滑な運営に努めていく。 ※その他財源の諸収入は、一般被保険者延滞金他 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他		
補正予算額	49,037			
予算流・充用額	0			
最終予算額	10,217,676			
本年度決算額	10,138,538			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 3,748,644			
	地方債 0			
	その他 5,395,806			
	一般財源 994,088			
	計 10,138,538			
その他財源の内訳	分担金 0			
	負担金 0			
	使用料 0			
	手数料 1,667			
	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	贈収 23,069			
	その他 5,371,070			
(参考)	前年度決算額 9,926,972	評価結果	高齢化等による医療費の増加が見込まれる中、厳しい財政状況にある国民健康保険においては、医療費の適正化が重要課題となっており、今後、被保険者の重症化予防や健康の保持・増進に努めながら引き続き制度の円滑な運営に努めていく。	

国002	項目名	退職被保険者等療養給付費		
主要な施策	退職被保険者等療養給付費	ページ	61	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費			
項	療養諸費			
目	退職被保険者等療養給付費			
(単位:千円)				
当初予算額	895,703	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】給付係 0857-20-3485 【9次総の施策体系】3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P321(国002) 【事業の概要】 国民健康保険の退職被保険者等が病気やけがにより保険医療機関で必要な医療を受ける際に現物給付を行うもの。被保険者は一部負担金を負担するのみで療養が可能となる。 ※退職被保険者等 退職者医療制度の対象者(60歳以上65歳未満)で、厚生年金もしくは各種共済組合の老齢年金等の受給者と被扶養者。 【事業の成果】 医療費のうち法令で定める被保険者の一部負担金相当額を控除した額を医療機関に支払うことにより、医療機会の均等化を図った。 療養給付費支出額 平成24年度 869,791,598円 平成25年度 835,135,786円 平成26年度 789,970,022円 【今後の課題・方向性】 退職者医療制度は制度廃止により経過措置期間終了後(平成27年度以降)は縮小の見込みである。 ※その他財源の諸収入は、退職被保険者延滞金他 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他		
補正予算額	△47,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	848,703			
本年度決算額	789,970			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 789,970			
	一般財源 0			
	計 789,970			
その他財源の内訳	分担金 0			
	負担金 0			
	使用料 0			
	手数料 1,195			
	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	贈収 186			
	その他 788,589			
(参考)	前年度決算額 835,136	評価結果	退職者医療制度は制度廃止により経過措置期間終了後(平成26年度以降)は縮小の見込みである。	

国003	項目名	一般被保険者高額療養費		
主要な施策	一般被保険者高額療養費	ページ	61	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費			
項	高額療養費			
目	一般被保険者高額療養費			
(単位:千円)				
当初予算額	1,425,117	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】国民健康保険係 0857-20-3485 【9次総の施策体系】3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P322(国003) 【事業の概要】 法令に定める医療費に対する一部負担金の上限額を超える額を支給し、多額の医療費がかかる治療を受けた場合でも安心して医療を受けられるようにするもの。 【事業の成果】 高額療養費の支給により多額の医療費がかかる医療機会の均等化を図った。 平成24年度 1,354,592,189円 平成25年度 1,324,435,393円 平成26年度 1,368,426,461円 【今後の課題・方向性】 医療の高度化等に伴って高額医療費の増加が見込まれる中、厳しい財政状況にある国民健康保険においては、医療費の適正化が重要課題となっている。今後、被保険者の重症化予防や健康の保持・増進に努めながら引き続き制度の円滑な運営に努めていく。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,425,117			
本年度決算額	1,368,426			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 388,679			
	地方債 0			
	その他 979,747			
	一般財源 0			
	計 1,368,426			
その他財源の内訳	分担金 0			
	負担金 0			
	使用料 0			
	手数料 0			
	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	贈収入 0			
	その他 979,747			
(参考)	前年度決算額	1,324,435	評価結果	医療の高度化等に伴って高額医療費の増加が見込まれる中、厳しい財政状況にある国民健康保険においては、医療費の適正化が重要課題となっている。今後、被保険者の重症化予防や健康の保持・増進に努めながら引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

国004	項目名	退職被保険者等高額療養費		
主要な施策	退職被保険者等高額療養費	ページ	61	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費			
項	高額療養費			
目	退職被保険者等高額療養費			
(単位:千円)				
当初予算額	146,572	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】国民健康保険係 0857-20-3485 【9次総の施策体系】3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P352(国004) 【事業の概要】 法令に定める医療費に対する一部負担金の上限額を超える額を支給し、退職被保険者等が多額の医療費がかかる治療を受けた場合でも安心して医療を受けられるようにするもの。 ※退職被保険者等 退職者医療制度の対象者(60歳以上65歳未満)で、厚生年金もしくは各種共済組合の老齢年金等の受給者と被扶養者。 【事業の成果】 高額療養費の支給により多額の医療費がかかる医療機会の均等化を図った。 平成24年度 132,784,769円 平成25年度 120,461,198円 平成26年度 122,722,043円 【今後の課題・方向性】 退職者医療制度は制度廃止により経過措置期間終了後(平成27年度以降)は縮小の見込みである。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他		
補正予算額	△15,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	131,572			
本年度決算額	122,722			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 122,722			
	一般財源 0			
	計 122,722			
その他財源の内訳	分担金 0			
	負担金 0			
	使用料 0			
	手数料 0			
	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	贈収入 0			
	その他 122,722			
(参考)	前年度決算額	120,461	評価結果	退職者医療制度は制度廃止により経過措置期間終了後(平成26年度以降)は縮小の見込みである。

国005	項目名	出産育児一時金		
主要な施策	出産育児一時金	ページ	61	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費			
項	出産育児諸費			
目	出産育児一時金			
(単位:千円)				
当初予算額	84,000			
補正予算額	4,200			
予算流・充用額	0			
最終予算額	88,200			
本年度決算額	69,996			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	23,332		
	一般財源	46,664		
	計	69,996		
その他財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収	0		
	その他	23,332		
(参考)	前年度決算額	75,482		
評価結果	出産に係る費用負担の軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】国民健康保険係 0857-20-3485				
【9次総の施策体系】3202				
【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P323(国005)				
【事業の概要】 国民健康保険法第58条第1項に基づき、条例の定めるところにより出産育児一時金の支払いを行うもの。被保険者が出産したとき、当該被保険者の属する世帯の世帯主に対し支給する。				
【事業の成果】 被保険者の出産1件あたり420,000円(産科医療保障制度に加入していない分娩機関での分娩の場合は39万円、27年1月から40万4千円)を支給した。 平成24年度 183件 97,740,028円 平成25年度 178件 75,481,909円 平成26年度 167件 69,995,727円				
【今後の課題・方向性】 出産に係る費用負担の軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。				
※その他財源のその他は、国民健康保険料				

国006	項目名	国民健康保険運営準備基金積立金(事業勘定分)		
主要な施策	国民健康保険運営準備基金積立金	ページ	62	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	積立金			
項	積立金			
目	積立金			
(単位:千円)				
当初予算額	1			
補正予算額	362,546			
予算流・充用額	0			
最終予算額	362,547			
本年度決算額	362,546			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	362,546		
	一般財源	0		
	計	362,546		
その他財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	322		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収	0		
	その他	362,224		
(参考)	前年度決算額	211,882		
評価結果	国が示す基金保有額の目安は保険給付費の3年平均の5%とされており、安定的な国保の財政運営に必要な基金を保有する。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】庶務係 0857-20-3481				
【9次総の施策体系】3202				
【予算上の経過】 予算事業別概要目次 なし				
【事業の概要】 国民健康保険運営準備基金への積立				
【事業の成果】 医療費の高騰等による不測の事態に備え、国民健康保険運営準備基金に積み立てを行った。 (積立実績)				
	積立額	取崩額	年度末残高	
平成21年度	2,026,183円	446,166,147円	0円	
平成22年度	103,000円	103,000円	0円	
平成23年度	0円	0円	0円	
平成24年度	559,258,000円	0円	559,258,000円	
平成25年度	211,881,887円	20,000,000円	751,139,887円	
平成26年度	362,546,212円	20,000,000円	1,093,686,099円	
【今後の課題・方向性】 国が示す基金保有額の目安は保険給付費の3年平均の5%とされており、安定的な国保の財政運営に必要な基金を保有する。				
※その他財源のその他は、国民健康保険料				

国007	項目名	後期高齢者支援金		
主要な施策	後期高齢者支援金	ページ	62	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	後期高齢者支援金等			
項	後期高齢者支援金等			
目	後期高齢者支援金			
(単位：千円)				
当初予算額	2,437,998	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】庶務係 0857-20-3481 【9次総の施策体系】3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P323(国006) 【事業の概要】 後期高齢者の医療給付を賄うため、医療保険者に課せられる支援金を拠出するもの。 拠出財源として国民健康保険被保険者が保険料を納付する。 【事業の成果】 後期高齢者の医療給付費の財源として省令により算定された支援金を納付した。 平成24年度 2,347,285,422円 平成25年度 2,460,157,995円 平成26年度 2,438,920,279円 【今後の課題・方向性】 後期高齢者の増加に伴い、支援金の増加が予想されることから、保険料負担の在り方について検討していく必要がある。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他		
補正予算額	923			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,438,921			
本年度決算額	2,438,920			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 1,164,258			
地方債	0			
その他	1,078,715			
一般財源	195,947			
計	2,438,920			
評価結果	後期高齢者の増加に伴い、支援金の増加が予想されることから、保険料負担の在り方について検討していく必要がある。			
(参考)	前年度決算額	2,460,158		

国008	項目名	介護納付金		
主要な施策	介護納付金	ページ	62	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	介護納付金			
項	介護納付金			
目	介護納付金			
(単位：千円)				
当初予算額	1,135,305	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】庶務係 0857-20-3481 【9次総の施策体系】No.3202 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 なし 【事業の概要】 介護保険の給付費等をまかなうための納付金。第2号被保険者の介護納付金分を国民健康保険の医療保険料と一括して賦課・徴収し、社会保険診療報酬支払基金へ納付するもの。 当該年度概算額(第2号被保険者1人当たり負担見込額×第2号被保険者見込数)+前々年度精算額 【事業の成果】 平成24年度 1,051,111,225円 平成25年度 1,123,661,815円 平成26年度 1,134,117,854円 【今後の課題・方向性】 要介護者の増加に伴い、納付金の増加が予想されることから、保険料負担のあり方について検討していく必要がある。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料		
補正予算額	△ 1,187			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,134,118			
本年度決算額	1,134,118			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 609,785			
地方債	0			
その他	453,019			
一般財源	71,314			
計	1,134,118			
評価結果	平成27年度行政評価 対象外			
(参考)	前年度決算額	1,123,662		

国009	項目名	高額医療費共同事業拠出金		
主要な施策	高額医療費共同事業拠出金		ページ	63
年度	H26		所 属 名	
			福祉保健部 保険年金課	
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	共同事業拠出金			
項	共同事業拠出金			
目	高額医療費共同事業拠出金			
(単位:千円)				
当初予算額	421,246			
補正予算額	38,979			
予算流・充用額	0			
最終予算額	460,225	その他財源の内訳		
本年度決算額	453,979	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収	0	
		その他	223,867	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	230,112		
	地方債	0		
	その他	223,867		
	一般財源	0		
	計	453,979		
(参考)	前年度決算額	421,245		
評価結果	高額医療費の発生による国保財政への影響を緩和するため、今後も県内市町村による高額医療費共同事業を推進する。			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】庶務係 0857-20-3481 【9次総の施策体系】3202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P324(国007) 【事業の概要】 医療技術の高度化等に伴い、高額な医療費の発生件数は年々増加し、小規模保険者を中心に各医療保険者の財政運営が不安定要因となる中、高額医療費の発生による影響を緩和するため、県内の市町村が拠出金を負担するもの。 レセプト1件あたり80万円を超える医療費を対象に各市町村からの鳥取県国民健康保険団体連合会への拠出金を財源として、実際に発生した医療費に応じて各市町村に交付金が交付される。 【事業の成果】 鳥取県国民健康保険団体連合会が行う共同事業に拠出金を拠出し、県内の市町村国保間の保険料の平準化、財政の安定化に資した。 平成24年度 403,509,199円 平成25年度 421,245,074円 平成26年度 453,978,770円 【今後の課題・方向性】 高額医療費の発生による国保財政への影響を緩和するため、今後も県内市町村による高額医療費共同事業を推進する。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他				

国010	項目名	保険財政共同安定化事業拠出金		
主要な施策	保険財政共同安定化事業拠出金		ページ	63
年度	H26		所 属 名	
			福祉保健部 保険年金課	
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	共同事業拠出金			
項	共同事業拠出金			
目	保険財政共同安定化事業拠出金			
(単位:千円)				
当初予算額	1,952,815			
補正予算額	106,791			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,059,606	その他財源の内訳		
本年度決算額	2,059,605	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収	0	
		その他	2,059,605	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	2,059,605		
	一般財源	0		
	計	2,059,605		
(参考)	前年度決算額	1,952,815		
評価結果	平成27年度から全ての医療費が拠出金の対象となることから、国保財政への影響を見極める必要がある。			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】庶務係 0857-20-3481 【9次総の施策体系】3202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P324(国008) 【事業の概要】 医療技術の高度化等に伴い、高額な医療費の発生件数は年々増加し、小規模保険者を中心に各医療保険者の財政運営が不安定となる中、高額医療費の発生による影響を緩和するため、県内の市町村が拠出金を負担するもの。 レセプト1件あたり30万円を超える医療費(80万円まで)を対象に、この拠出金を財源として、実際に発生した医療費に応じて各市町村に交付金が交付される。 【事業の成果】 この共同事業を行うことで、各市町村国保の運営の安定化が図られた。 平成24年度 1,986,104,068円 平成25年度 1,952,814,551円 平成26年度 2,059,605,237円 【今後の課題・方向性】 平成27年度から全ての医療費が拠出金の対象となることから、国保財政への影響を見極める必要がある。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料他				

国011	項目名	糖尿病性腎症重症化予防事業費		
主要な施策	糖尿病性腎症重症化予防事業費	ページ	63	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保健事業費			
項	保健事業費			
目	保健衛生普及費			
(単位:千円)				
当初予算額	10,800	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-20-3441 【9次総の施策体系】3102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P325(国009) 【事業の概要】 国民健康保険の被保険者のうち、病状悪化により人工透析に移行するおそれのある糖尿病性腎症の患者であって、生活習慣の改善により重症化予防が期待される者に対し、主治医の指導の下、6か月間の保健指導プログラムを実施し、糖尿病の重症化を防ぎ、医療費の適正化を図るもの。 【事業の成果】 臨床経験及び保健指導プログラムのノウハウを有する民間企業に業務を委託し、効果的な保健指導を実施した。 平成26年度…29人 【今後の課題・方向性】 平成26年度の保健指導受講者には、もう少し厳しい指導プログラムを求める方と、指導プログラムの目標達成基準に負担を感じる方の両面があったため、平成27年度は対象者のニーズに合わせたプログラム実施を検討し、継続実施する。 ※その他財源のその他は、国民健康保険料		
補正予算額	△ 4,273			
予算流・充用額	0			
最終予算額	6,527			
本年度決算額	6,413	<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 5,482		
区分	決算額	(参考) 前年度決算額 0 評価結果 現行のプログラムより厳しい指導を求めた方は、既に目標を達成し更なる効果が期待できる。また、負担に感じた方についても、改善に向けての努力の継続は評価できる。平成27年度は、6カ月終了時やフォローアップ移行後の検査データなどを参考にして、指導方法も工夫しながら継続実施していく。		
財源内訳				
国・県支出金	931			
地方債	0			
その他	5,482			
一般財源	0			
計	6,413			

国012	項目名	医療費適正化強化推進事業費		
主要な施策	医療費適正化強化推進事業費	ページ	63	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保健事業費			
項	保健事業費			
目	保健衛生普及費			
(単位:千円)				
当初予算額	0	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-20-3441 【9次総の施策体系】3102 【予算計上の経過】 予算事業別概要 6月補正予算・P95(国002) 【事業の概要】 将来に渡る安定的な国保事業運営のために不可欠な医療費適正化対策を強化するため、レポート等の客観的なデータ分析に基づく健康保持増進計画(データヘルス計画)を策定し、PDCAサイクルに沿った医療費適正化の取り組みを実施する。 【事業の成果】 平成26年度はデータヘルス計画を策定するとともに、糖尿病対策に重点を置いた各種啓発事業や専門職員の増員による訪問指導活動の充実及び医療費適正化対策の強化を図った。 【今後の課題・方向性】 事業評価に用いる検査データの収集や事業参加者のニーズ把握に活用するアンケートなどの実施方法を検討し、データヘルス計画に反映させる。		
補正予算額	2,070			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,070			
本年度決算額	2,069	<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	決算額	(参考) 前年度決算額 0 評価結果 データヘルス計画策定後は、年度毎の保健事業の実施状況や国保の医療費の動向を注視し、計画の見直しを行うこととしている。検査データやアンケートの回答結果を見直しに反映させ、計画的な事業運営に繋げたい。		
財源内訳				
国・県支出金	2,069			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	0			
計	2,069			

国013	項目名	特定健康診査等事業費		
主要な施策	特定健康診査等事業費	ページ	63	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保健事業費	事業の概要		
項	特定健康診査等事業費	【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320		
目	特定健康診査等事業費	【9次総の施策体系】3102		
(単位:千円)		【予算計上の経過】		
当初予算額	95,048	予算事業別概要		
補正予算額	△ 37,400	当初予算P325(国010)		
予算流・充用額	0	【事業の概要】		
最終予算額	57,648	国保被保険者(40~74歳)を対象に、生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導を実施し、医療費の適正化を総合的に推進する。		
本年度決算額	50,235	【事業の成果】		
区分	決算額	特定健診(受診率) 特定保健指導(利用率) 委託料		
財源内訳		平成24年度 8,037人(26.1%) 234人(26.7%) 37,892,100円		
国・県支出金	41,168	平成25年度 8,481人(27.8%) 271人(30.8%) 41,671,414円		
地方債	0	平成26年度 9,798人(29.8%) 415人(41.9%) 49,363,964円		
その他	9,067	※平成26年度の人数、率については見込み		
一般財源	0	1 受診者への受診勧奨、休日健診の実施、キャンペーンでの啓発活動などの取り組みにより、受診者が増加した。		
計	50,235	2 特定保健指導については、未利用者に対する訪問や夜間電話により徹底した勧奨を実施するとともに、訪問による特定保健指導を強化した結果、平成25年度利用率30.8%(確定値)から平成26年度利用率41.9%(見込み)と11.1ポイントと大幅に向上した。		
		3 受診者に対する特定保健指導の結果、メタボ判定において約7割に改善・維持が見られた。		
		【今後の課題・方向性】		
		鳥取市国保加入者の生活習慣病の発症及び重症化予防は、今後の国保医療費削減に向けた最重要課題である。特定健診受診率及び特定保健指導利用率向上のため、さらなる取り組みを強力に推進する必要がある。		
		※その他財源のその他は、国民健康保険料		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	42,488	高齢者医療確保法により定められたもので、中長期的な医療費適正化と健康寿命の延伸に結びつく事業である。今後もさらなる受診率向上に努めるとともに、保健指導対象者に対する生活習慣病予防対策を強力に推進する。		

国014	項目名	医科運営費		
主要な施策	運営費	ページ	64	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)			
款	総務費	事業の概要		
項	医科施設管理費	【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212		
目	一般管理費	【9次総の施策体系】3101		
(単位:千円)		【予算計上の経過】予算事業別概要目次 当初予算・P326(国011)		
当初予算額	41,907	【事業の概要】		
補正予算額	362	夜間に無医科状態にある佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進を図るため、診療所の維持、医師の確保を図り、地域医療サービスを提供する。		
予算流・充用額	0	開設 平成24年4月2日		
最終予算額	42,269	診療 内科、小児科、外科		
本年度決算額	36,529	職員 医師1名、看護師2名、事務(委託)1名		
区分	決算額	【事業の成果】		
財源内訳		地域医療の確保・充実を目指して医療・保健・福祉の連携が取れた保健医療体制の確立に重点をおくとともに予防対策を積極的に推進し住民の健康づくりに努めた。		
国・県支出金	0	平成24年度 平成25年度 平成26年度		
地方債	0	年間診療日数 213日 214日 215日		
その他	36,529	年間件数 6,803件 6,352件 6,634件		
一般財源	0	1日平均 31.9件 29.7件 30.9件		
計	36,529	訪問リハビリ 96日		
		548件		
		診療報酬収入 82,145,405円 79,538,159円 77,516,070円		
		その他雑入 9,608,642円 9,396,630円 10,806,733円		
		その他収入 13,281,739円 13,334,131円 24,871,847円		
		収入計 105,035,786円 102,268,920円 113,194,650円		
		支出計 95,944,394円 87,291,293円 107,855,646円		
		差 額 9,091,392円 14,977,627円 5,339,004円		
		※その他雑入は健診、予防接種等		
		【今後の課題・方向性】		
		住民の健康維持を図るため、医師の確保及び収益の増加に努めながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。		
		※その他財源の諸収入は、検診、予防接種等		
		※その他財源のその他は、診療収入他		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	38,598	地域住民の健康維持を図るため、医師の確保及び収益の増加を図りながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。		

国015	項目名	医科保健事業費																																																		
主要な施策	保健事業費	ページ	64	所 属 名																																																
年度	H26	福祉保健部 保険年金課																																																		
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)																																																			
款	総務費																																																			
項	医科施設管理費																																																			
目	一般管理費																																																			
(単位:千円)																																																				
当初予算額	5,380	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212 【9次総の施策体系】3101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P326(国012) 【事業の概要】 保健・医療福祉の連携を深めながら、健康づくりから疾病の予防、早期発見、治療、リハビリテーションに至る健康事業を幅広く実施し、住民の健康に努める。 【事業の成果】 <table border="1"> <tr> <td>&lt;健康相談&gt;</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>総合相談窓口事業</td> <td>42回 155人</td> <td>35回 111人</td> <td>42回 58人</td> </tr> <tr> <td>一般健康相談</td> <td>69回 545人</td> <td>17回 386人</td> <td>12回 235人</td> </tr> <tr> <td>選果場健康相談</td> <td>2回 41人</td> <td>2回 40人</td> <td>2回 35人</td> </tr> <tr> <td>&lt;健康教育&gt;</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>糖尿病等健康教室</td> <td>12回 108人</td> <td>12回 114人</td> <td>12回 98人</td> </tr> <tr> <td>しゃんしゃん体操教室</td> <td>23回 154人</td> <td>88回 416人</td> <td>105回 630人</td> </tr> <tr> <td>地区健康教室</td> <td>9回 239人</td> <td>11回 241人</td> <td>7回 191人</td> </tr> <tr> <td>高齢者健康教室</td> <td>3回 61人</td> <td>3回 51人</td> <td>6回 97人</td> </tr> <tr> <td>禁煙指導</td> <td>10人</td> <td>11人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>&lt;訪問指導&gt;</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高血圧・健診フォロー等</td> <td>48人</td> <td>41人</td> <td>49人</td> </tr> </table> 【今後の課題・方向性】 引き続き各種相談事業等による疾病予防・健康教育活動に取組み、地域住民の健康維持に努めていく。			<健康相談>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	総合相談窓口事業	42回 155人	35回 111人	42回 58人	一般健康相談	69回 545人	17回 386人	12回 235人	選果場健康相談	2回 41人	2回 40人	2回 35人	<健康教育>				糖尿病等健康教室	12回 108人	12回 114人	12回 98人	しゃんしゃん体操教室	23回 154人	88回 416人	105回 630人	地区健康教室	9回 239人	11回 241人	7回 191人	高齢者健康教室	3回 61人	3回 51人	6回 97人	禁煙指導	10人	11人	7人	<訪問指導>				高血圧・健診フォロー等	48人	41人	49人
<健康相談>	平成24年度				平成25年度	平成26年度																																														
総合相談窓口事業	42回 155人				35回 111人	42回 58人																																														
一般健康相談	69回 545人				17回 386人	12回 235人																																														
選果場健康相談	2回 41人	2回 40人	2回 35人																																																	
<健康教育>																																																				
糖尿病等健康教室	12回 108人	12回 114人	12回 98人																																																	
しゃんしゃん体操教室	23回 154人	88回 416人	105回 630人																																																	
地区健康教室	9回 239人	11回 241人	7回 191人																																																	
高齢者健康教室	3回 61人	3回 51人	6回 97人																																																	
禁煙指導	10人	11人	7人																																																	
<訪問指導>																																																				
高血圧・健診フォロー等	48人	41人	49人																																																	
補正予算額	2,385																																																			
予算流・充用額	0																																																			
最終予算額	7,765	その他財源の内訳																																																		
本年度決算額	7,668	分担金	0																																																	
区分	決算額	負担金	0																																																	
財源内訳	国・県支出金	0	使用料	0																																																
	地方債	0	手数料	0																																																
	その他	4,246	財産収入	0																																																
	一般財源	3,422	寄付金	0																																																
	計	7,668	繰入金	4,246																																																
			贈収入	0																																																
			その他	0																																																
(参考)	前年度決算額	5,378	評価結果	引き続き各種相談事業等による疾病予防・健康教育活動に取組み、地域住民の健康維持に努めていく。																																																

国016	項目名	歯科運営費		
主要な施策	運営費	ページ	64	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)			
款	総務費			
項	歯科施設管理費			
目	一般管理費			
(単位:千円)				
当初予算額	9,706	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212 【9次総の施策体系】3101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P327(国013) 【事業の概要】 高齢化率が高く歯科医院のない佐治地域における歯科診療所の維持及び医師の確保を図り、良好な歯科医療の確保と地域住民の健康管理に努めている。 開設 平成元年4月1日(旧診療所は昭和53年5月1日~平成元年3月31日まで診療) 職員 歯科医師1名、衛生士3名(うち嘱託1名)、技工士1名 【事業の成果】 包括的地域医療の拠点として、保健・医療・福祉の連携を図り、口腔衛生の普及・住民の健康づくりに努めた結果、受診件数及び診療報酬収入ともに大幅な増加となった。		
補正予算額	△2			
予算流・充用額	0			
最終予算額	9,704			
本年度決算額	7,999	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳	国・県支出金	0	使用料	0
	地方債	0	手数料	0
	その他	7,999	財産収入	0
	一般財源	0	寄付金	0
	計	7,999	繰入金	347
			贈収入	591
			その他	7,061
(参考)	前年度決算額	6,993	評価結果	住民の健康維持を図るため、医師の確保及び収益の増加に努めながら、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。

国017	項目名	歯科保健事業費																																														
主要な施策	保健事業費	ページ	64	所 属 名																																												
年度	H26	福祉保健部 保険年金課																																														
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)																																															
款	総務費	事業の概要																																														
項	歯科施設管理費	【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212																																														
目	一般管理費	【9次総の施策体系】3101																																														
(単位:千円)		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P327(国014)																																														
当初予算額	8,326	【事業の概要】 保健・医療福祉の連携を深めながら口腔衛生管理に努め、地域住民の健康維持を図る。																																														
補正予算額	86	【事業の成果】																																														
予算流・充用額	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合相談窓口事業</td> <td>42回 111人</td> <td>40回 114人</td> <td>42回 108人</td> </tr> <tr> <td>介護予防歯科教室</td> <td>4回 86人</td> <td>5回 60人</td> <td>5回 88人</td> </tr> <tr> <td>成人歯科教室</td> <td>5回 68人</td> <td>6回 66人</td> <td>5回 63人</td> </tr> <tr> <td>歯科教室</td> <td>10回 135人</td> <td>9回 162人</td> <td>8回 119人</td> </tr> <tr> <td>園児・児童・生徒への教室</td> <td>5回 235人</td> <td>7回 354人</td> <td>5回 332人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児歯科相談</td> <td>12回 135人</td> <td>11回 164人</td> <td>8回 119人</td> </tr> <tr> <td>成人歯科相談</td> <td></td> <td>137人</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>高齢者歯科相談</td> <td></td> <td>109人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>口腔ケア指導</td> <td></td> <td>166人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>161人</td> </tr> </tbody> </table>				平成24年度	平成25年度	平成26年度	総合相談窓口事業	42回 111人	40回 114人	42回 108人	介護予防歯科教室	4回 86人	5回 60人	5回 88人	成人歯科教室	5回 68人	6回 66人	5回 63人	歯科教室	10回 135人	9回 162人	8回 119人	園児・児童・生徒への教室	5回 235人	7回 354人	5回 332人	乳幼児歯科相談	12回 135人	11回 164人	8回 119人	成人歯科相談		137人	131人	高齢者歯科相談		109人	65人	口腔ケア指導		166人	157人				161人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																													
総合相談窓口事業	42回 111人	40回 114人	42回 108人																																													
介護予防歯科教室	4回 86人	5回 60人	5回 88人																																													
成人歯科教室	5回 68人	6回 66人	5回 63人																																													
歯科教室	10回 135人	9回 162人	8回 119人																																													
園児・児童・生徒への教室	5回 235人	7回 354人	5回 332人																																													
乳幼児歯科相談	12回 135人	11回 164人	8回 119人																																													
成人歯科相談		137人	131人																																													
高齢者歯科相談		109人	65人																																													
口腔ケア指導		166人	157人																																													
			161人																																													
最終予算額	8,412	【今後の課題・方向性】 引き続き各種保健事業により口腔衛生管理に努め、住民の健康維持を図る。																																														
本年度決算額	8,348	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>3,247</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	3,247	贈収	0	その他	0																								
その他財源の内訳																																																
分担金	0																																															
負担金	0																																															
使用料	0																																															
手数料	0																																															
財産収入	0																																															
寄付金	0																																															
繰入金	3,247																																															
贈収	0																																															
その他	0																																															
区分	決算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>財源内訳</th> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,247</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,101</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>8,348</td> </tr> </tbody> </table>			財源内訳	区 分	決算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	3,247	一般財源	5,101	計		8,348																													
財源内訳	区 分	決算額																																														
財源内訳	国・県支出金	0																																														
	地方債	0																																														
	その他	3,247																																														
	一般財源	5,101																																														
計		8,348																																														
(参考)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価結果</th> <th>前年度決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引き続き各種保健事業により口腔衛生管理に努め、住民の健康維持を図る。</td> <td>8,239</td> </tr> </tbody> </table>			評価結果	前年度決算額	引き続き各種保健事業により口腔衛生管理に努め、住民の健康維持を図る。	8,239																																								
評価結果	前年度決算額																																															
引き続き各種保健事業により口腔衛生管理に努め、住民の健康維持を図る。	8,239																																															

国018	項目名	長期借入金元金償還金						
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	64	所 属 名				
年度	H26	福祉保健部 保険年金課						
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)							
款	公債費	事業の概要						
項	公債費	【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212						
目	元金	【9次総の施策体系】0202						
(単位:千円)		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P328(国015)						
当初予算額	892	【事業の概要】 診療所(医科)の施設整備に係る起債の元金を償還するもの						
補正予算額	0	起債年月 借入金額 内容						
予算流・充用額	0	平成17年3月 5,200千円 レントゲン(X線テレビシステム)						
最終予算額	892	平成18年3月 1,000千円 自動現像機						
本年度決算額	892	平成20年3月 1,700千円 施設改修工事(屋内通路、応接・更衣室新設等)						
区分	決算額	【事業の成果】						
財源内訳	国・県支出金	0	償還金					
	地方債	0	平成24年度	1,288,193円				
	その他	267	平成25年度	880,350円				
	一般財源	625	平成26年度	891,870円				
計	892	【今後の課題・方向性】 地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。 ※その他財源の諸収入は、検診、予防接種等						
(参考)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価結果</th> <th>前年度決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。</td> <td>880</td> </tr> </tbody> </table>			評価結果	前年度決算額	地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。	880
評価結果	前年度決算額							
地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。	880							

国019	項目名	長期借入金利子償還金	
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	64
年度	H26	所属名 福祉保健部 保険年金課	
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	公債費		
項	公債費		
目	利子		
(単位:千円)			
当初予算額	42		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	42		
本年度決算額	41		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	11	
	一般財源	30	
	計	41	
参考)	前年度決算額	53	
事業の概要	<p>【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212</p> <p>【9次総の施策体系】0202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P358(国016)</p> <p>【事業の概要】 診療所(医科)の施設整備に係る起債の利子償還金 起債年月 借入金額 内容 平成17年3月 5,200千円 レントゲン(X線テレビシステム) 平成18年3月 1,000千円 自動現像機 平成20年3月 1,700千円 施設改修工事(屋内通路、応接・更衣室新設等)</p> <p>【事業の成果】 利子償還金 平成24年度 67,933円 平成25年度 52,794円 平成26年度 41,274円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。 ※その他財源の諸収入は、検診、予防接種等</p>		
評価結果	地域医療の維持・向上及び診療所の健全経営に努めながら、機器購入等に活用した起債の償還を行う。		

国020	項目名	国民健康保険運営準備基金積立金(直診勘定分)	
主要な施策	国民健康保険運営準備基金積立金	ページ	64
年度	H26	所属名 福祉保健部 保険年金課	
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	積立金		
項	積立金		
目	積立金		
(単位:千円)			
当初予算額	0		
補正予算額	14,470		
予算流・充用額	0		
最終予算額	14,470		
本年度決算額	14,469		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	14,469	
	一般財源	0	
	計	14,469	
参考)	前年度決算額	0	
事業の概要	<p>【問合せ先】庶務係 0857-20-3481</p> <p>【9次総の施策体系】3202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 なし</p> <p>【事業の概要】 国民健康保険運営準備基金への積立</p> <p>【事業の成果】 不測の事態に備え、国民健康保険運営準備基金に積み立てを行った。 (積立実績) (医科)積立額 (歯科)積立額 年度末残高 平成26年度 11,726,299円 2,743,000円 14,469,299円</p> <p>【今後の課題・方向性】 佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進を図るため、安定的な診療所運営に必要な基金を保有する。</p> <p>※その他財源のその他は、診療収入</p>		
評価結果	佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進を図るため、安定的な診療所運営に必要な基金を保有する。		

高障住001	項目名	長期借入金元金償還金		
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	69	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計		【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款	公債費	【9次総の施策体系】0202		
項	公債費	【予算計上の経過】当初予算・P329（高障住002）		
目	元金	【事業の概要】 高齢者住宅整備資金貸付事業を行うため、財務省より財政融資資金の借入をしており、その元金償還金		
(単位：千円)		【事業の成果】 当年度の償還金の返済がおこなえた。		
当初予算額	656	【今後の課題・方向性】 完済まで着実に返済を実施していく。		
補正予算額	0	※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入		
予算流・充用額	0			
最終予算額	656	その他財源の内訳		
本年度決算額	656	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収	656	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	656		
	一般財源			
	計	656		
(参考)	前年度決算額	1,574	評価結果	完済までに着実に償還を実施していく。

高障住002	項目名	長期借入金利子償還金		
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	69	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計		【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款	公債費	【9次総の施策体系】0202		
項	公債費	【予算計上の経過】当初予算・P330（高障住003）		
目	利子	【事業の概要】 高齢者住宅整備資金貸付事業を行うため、財務省より財政融資資金の借入をしており、その利子償還金		
(単位：千円)		【事業の成果】 当年度の利子の償還がおこなえた。		
当初予算額	55	【今後の課題・方向性】 完済まで着実に償還を実施していく。		
補正予算額	△39	※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入		
予算流・充用額	0			
最終予算額	16	その他財源の内訳		
本年度決算額	15	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収	15	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	15		
	一般財源	0		
	計	15		
(参考)	前年度決算額	31	評価結果	完済まで着実に償還を実施していく。

住001	項目名	事務費		
主要な施策	事務費	ページ	72	所 属 名
年度	H26	総務部人権政策監 人権推進課		
会計名	住宅新築資金等貸付事業費特別会計			
款	住宅新築資金等貸付事業費			
項	住宅新築資金等貸付事業費			
目	住宅新築資金等貸付事業費			
(単位：千円)				
当初予算額	5,149	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】同和対策係 0857-20-3141 【9次総の施策体系】2201 【予算計上の経過】 当初事業別概要目次 当初予算・P331(住001) 【事業の概要】 対象地域において、住宅の新築、改修及び宅地の取得を促進することにより住環境の改善を図ることを目的とした住宅新築資金等貸付事業である。貸付事業は平成8年度をもって終了している。現在は貸付金の回収および起債の償還事務。 【事業の成果】 住宅新築資金等貸付金の集金等に係る事務費を賄った。 住宅新築資金等貸付金事務費 平成24年度 2,226千円 平成25年度 2,801千円 平成26年度 2,583千円 【今後の課題・方向性】 住宅新築資金等貸付金の円滑な償還に努める。		
補正予算額	△444			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,705			
本年度決算額	2,583	<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0		
区分	決算額	(参考) 前年度決算額 2,801 評価結果 住宅新築資金等貸付金の円滑な償還事務に努めるため、引き続き継続する。		
財源内訳	国・県支出金 1,783			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 800			
	計 2,583			

住002	項目名	長期借入金元金償還金		
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	72	所 属 名
年度	H26	総務部人権政策監 人権推進課		
会計名	住宅新築資金等貸付事業費特別会計			
款	公債費			
項	公債費			
目	元金			
(単位：千円)				
当初予算額	38,972	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】同和対策係 0857-20-3141 【9次総の施策体系】2201 【予算計上の経過】 当初事業別概要目次 当初予算・P331(住002) 【事業の概要】 対象地域において、住宅の新築、改修及び宅地の取得を促進することにより住環境の改善を図ることを目的とした住宅新築資金等貸付事業である。貸付事業は平成8年度をもって終了している。現在は貸付金の起債元金の償還。 【事業の成果】 住宅新築資金等貸付金長期借入金元金償還金 平成24年度 42,229千円 平成25年度 43,743千円 平成26年度 42,768千円 【今後の課題・方向性】 貸付金の起債元金の円滑な償還に努める。 ※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
補正予算額	3,797			
予算流・充用額	0			
最終予算額	42,769			
本年度決算額	42,768	<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 35,629 その他 4,138		
区分	決算額	(参考) 前年度決算額 43,743 評価結果 住宅新築資金等貸付金の起債元金の円滑な償還に努めるため、引き続き継続する。		
財源内訳	国・県支出金 1,835			
	地方債 0			
	その他 39,767			
	一般財源 1,166			
	計 42,768			

住003	項目名	長期借入金利子償還金	
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	72
年度	H26	所 属 名	
		総務部人権政策監 人権推進課	
会計名		事業の概要	
住宅新築資金等貸付事業費特別会計		【問合せ先】同和対策係 0857-20-3141	
款	公債費	【9次総の施策体系】2201	
項	公債費	【予算計上の経過】 当初事業別概要目次 当初予算・P332(住003)	
目	利子	【事業の概要】 対象地域において、住宅の新築、改修及び宅地の取得を促進することにより住環境の改善を図ることを目的とした住宅新築資金等貸付事業である。貸付事業は平成8年度をもって終了している。現在は貸付金の起債利子の償還。	
(単位:千円)		【事業の成果】 住宅新築資金等貸付金長期借入金利子償還金 平成24年度 10,725千円 平成25年度 8,704千円 平成26年度 6,679千円	
当初予算額	6,755	【今後の課題・方向性】 貸付金の起債利子の円滑な償還に努める。  ※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入	
補正予算額	△75		
予算流・充用額	0		
最終予算額	6,680	【評価結果】 住宅新築資金等貸付金の起債利子の円滑な償還に努めるため、引き続き継続する。	
本年度決算額	6,679	その他財源の内訳	
区分		分担金	
決算額		負担金	
財源内訳	国・県支出金	使用料	
	地方債	手数料	
	その他	財産収入	
	一般財源	寄付金	
	計	繰入金	
		贈収入	
		その他	
(参考)	前年度決算額	8,704	

土001	項目名	土地取得費事務費													
主要な施策	事務費	ページ	74												
年度	H26	所 属 名													
		総務部総務調整監 財産経営課													
会計名		事業の概要													
土地取得費特別会計		【問合せ先】財産政策第1係 0857-20-3851													
款	土地取得事業費	【9次総の施策体系】0202													
項	土地取得事業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P333(土001)、2月補正予算(追加)・P3(土001)													
目	事務費	【事業の概要】 公用または公共用に供する土地、公共の利益のために取得する必要のある土地等をあらかじめ取得することにより事業の円滑な執行を図るため、土地開発基金を設置し、その運用益金の管理を行っている。 また、平成25年度に土地開発基金の一部を取り崩して一般会計に繰り出し、それを財源として三洋電機(株)南吉方工場跡地を取得している。													
(単位:千円)		【事業の成果】 運用利子及び三洋電機(株)南吉方工場跡地の一部土地売却収入を一般会計から繰り入れて、土地開発基金に積み立てた。 ○基金積立実績(運用利率0.045%)													
当初予算額	550	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>うち運用利子</td> <td>基金残高</td> </tr> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>273,740千円</td> <td>1,065千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度実績</td> <td>600,679千円</td> <td>679千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績</td> <td>701,058千円</td> <td>544千円</td> </tr> </table>			うち運用利子	基金残高	平成24年度実績	273,740千円	1,065千円	平成25年度実績	600,679千円	679千円	平成26年度実績	701,058千円	544千円
	うち運用利子	基金残高													
平成24年度実績	273,740千円	1,065千円													
平成25年度実績	600,679千円	679千円													
平成26年度実績	701,058千円	544千円													
補正予算額	700,517														
予算流・充用額	0														
最終予算額	701,067	【今後の課題・方向性】 土地開発基金を確実かつ効率的な運用に努めるために、繰替運用及び貸付運用を行い、公共用地の取得に備えて基金の積立を行っていく。													
本年度決算額	701,058	【評価結果】 継続して土地開発基金の適切な管理・運営に努める。													
区分		分担金													
決算額		負担金													
財源内訳	国・県支出金	使用料													
	地方債	手数料													
	その他	財産収入													
	一般財源	寄付金													
	計	繰入金													
		贈収入													
		その他													
(参考)	前年度決算額	600,679													

墓001	項目名	第二いなば墓苑用地取得費																										
主要な施策	第二いなば墓苑用地取得費	ページ	76	所 属 名																								
年度	H26	事業の概要																										
<b>会計名</b> 墓苑事業費特別会計 <table border="1"> <tr><td>款</td><td>墓苑費</td></tr> <tr><td>項</td><td>墓苑費</td></tr> <tr><td>目</td><td>墓苑費</td></tr> </table> (単位：千円) <table border="1"> <tr><td>当初予算額</td><td>176</td></tr> <tr><td>補正予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td>予算流・充用額</td><td>0</td></tr> </table>		款	墓苑費	項	墓苑費	目	墓苑費	当初予算額	176	補正予算額	0	予算流・充用額	0	【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216 【9次総の施策体系】4201 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P334(墓001) 【事業の概要】 使用料収入をもって、債務負担行為により取得した第二いなば墓苑の用地に係る費用を償還する。 【事業の成果】 平成24年度 20,690千円 平成25年度 15,619千円 平成26年度 176千円 【今後の課題・方向性】 今後とも第二いなば墓苑用地に係る償還に適切に対応していく。														
款	墓苑費																											
項	墓苑費																											
目	墓苑費																											
当初予算額	176																											
補正予算額	0																											
予算流・充用額	0																											
最終予算額	176	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>176</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	176	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0						
分担金	0																											
負担金	0																											
使用料	176																											
手数料	0																											
財産収入	0																											
寄付金	0																											
繰入金	0																											
贈収入	0																											
その他	0																											
本年度決算額	176	(参考) <table border="1"> <tr><td>前年度決算額</td><td>15,619</td></tr> </table>			前年度決算額	15,619																						
前年度決算額	15,619																											
<table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>176</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>176</td></tr> </table>	区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	176	一般財源	0	計	176	<table border="1"> <tr><th>財源内訳</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>176</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>176</td></tr> </table>	財源内訳	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	176	一般財源	0	計	176	評価結果 今後とも第二いなば墓苑用地に係る償還に適切に対応していく。		
区 分	決算額																											
国・県支出金	0																											
地方債	0																											
その他	176																											
一般財源	0																											
計	176																											
財源内訳	決算額																											
国・県支出金	0																											
地方債	0																											
その他	176																											
一般財源	0																											
計	176																											

墓002	項目名	墓地管理費																										
主要な施策	墓地管理費	ページ	76	所 属 名																								
年度	H26	事業の概要																										
<b>会計名</b> 墓苑事業費特別会計 <table border="1"> <tr><td>款</td><td>墓苑費</td></tr> <tr><td>項</td><td>墓苑費</td></tr> <tr><td>目</td><td>墓苑費</td></tr> </table> (単位：千円) <table border="1"> <tr><td>当初予算額</td><td>12,748</td></tr> <tr><td>補正予算額</td><td>0</td></tr> <tr><td>予算流・充用額</td><td>0</td></tr> </table>		款	墓苑費	項	墓苑費	目	墓苑費	当初予算額	12,748	補正予算額	0	予算流・充用額	0	【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216 【9次総の施策体系】4201 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P334(墓002) 【事業の概要】 市営墓地の適正な維持管理を行うことで、墓石等の保護及び参拝者の安全を図る。 【事業の成果】 平成24年度 8,546千円 平成25年度 18,066千円 平成26年度 11,217千円 【今後の課題・方向性】 参拝者の安全確保のため、現状を把握し計画的な修繕を行っていく必要がある。平成28年度中に第二いなば墓苑の全区画が埋まることが予想されるため、恒久的な墓地需要への対応を担保するため、第三期工事に着手する。														
款	墓苑費																											
項	墓苑費																											
目	墓苑費																											
当初予算額	12,748																											
補正予算額	0																											
予算流・充用額	0																											
最終予算額	12,748	その他財源の内訳 <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>11,217</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	11,217	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0						
分担金	0																											
負担金	0																											
使用料	11,217																											
手数料	0																											
財産収入	0																											
寄付金	0																											
繰入金	0																											
贈収入	0																											
その他	0																											
本年度決算額	11,217	(参考) <table border="1"> <tr><td>前年度決算額</td><td>18,066</td></tr> </table>			前年度決算額	18,066																						
前年度決算額	18,066																											
<table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11,217</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,217</td></tr> </table>	区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	11,217	一般財源	0	計	11,217	<table border="1"> <tr><th>財源内訳</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11,217</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,217</td></tr> </table>	財源内訳	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	11,217	一般財源	0	計	11,217	評価結果 今後とも引き続き事業を実施し、適正に墓地事業を実施することにより、市民の墓地需要に応えていく。		
区 分	決算額																											
国・県支出金	0																											
地方債	0																											
その他	11,217																											
一般財源	0																											
計	11,217																											
財源内訳	決算額																											
国・県支出金	0																											
地方債	0																											
その他	11,217																											
一般財源	0																											
計	11,217																											

墓003	項目名	積立金				
主要な施策	積立金	ページ	76	所 属 名		
年度	H26				環境下水道部 生活環境課	
会計名		事業の概要				
墓苑事業費特別会計		【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216				
款	積立金	【9次総の施策体系】4201				
項	積立金	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P335(墓003)				
目	積立金	【事業の概要】 市営墓地の使用料収入から墓地管理費・第二いなば墓苑の用地取得費償還金を除いた剰余金を、基金として積立て、円滑な墓苑事業の推進を図る。				
(単位:千円)		【事業の成果】 予定額を適切に積み立てた。				
当初予算額	20,496	【今後の課題・方向性】 今後も基金運営につき、適切に対応する。				
補正予算額	△2,564	*その他財源のその他は、前年度繰越金。				
予算流・充用額	0					
最終予算額	17,932	その他財源の内訳				
本年度決算額	17,932	分担金	0			
区 分		負担金	0			
財源内訳	国・県支出金	使用料	11,801			
	地方債	手数料	0			
	その他	財産収入	0			
	一般財源	寄付金	0			
	計	繰入金	0			
		贈収入	0			
		その他	6,131			
(参考)		評価結果	今後も基金運営につき、適切に対応する。			
前年度決算額	0					

介001	項目名	介護サービス等諸費				
主要な施策	介護サービス等諸費	ページ	78	所 属 名		
年度	H26				福祉保健部 高齢社会課	
会計名		事業の概要				
介護保険費特別会計		【問合せ先】介護保険係 0857-20-3452				
款	保険給付費	【9次総の施策体系】3202				
項	介護サービス等諸費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P336(介001)				
目	介護サービス等諸費	【事業の概要】 介護保険は、加齢による病気等で介護が必要な人に対して介護サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念に基づき平成12年4月に創設された。介護サービス等諸費では、介護サービスを利用した要介護1～5の本市被保険者に対して、約9割を保険給付として支給する。				
(単位:千円)		①鳥取県国保連合会からの一括請求に対して支払を行う。 (居宅介護サービス)・訪問介護・通所介護 など (施設介護サービス)・介護老人福祉施設 など (地域密着型サービス)・小規模多機能型居宅介護 など				
当初予算額	16,440,140	②被保険者から申請があった場合に支払を行う。 ・特定福祉用具販売 ・住宅改修費 ・高額介護サービス費				
補正予算額	△784,079	【事業の成果】 加齢や病気等で常時介護が必要となっても、介護サービスを利用しながら、可能な限り住み慣れた地域での生活を継続するための支援が図られた。				
予算流・充用額	0	<介護給付費の推移> 平成24年度決算額 14,083,053千円(H24.3~25.2利用分) 平成25年度決算額 14,908,697千円(H25.3~26.2利用分) 平成26年度決算額 15,250,175千円(H26.3~27.2利用分)				
最終予算額	15,656,061	【今後の課題・方向性】 要介護認定者は増加傾向にあり、今後も介護給付費の増大が見込まれる。介護保険制度の持続可能性を確保するため、重篤化の予防や介護給付費の適正化に取り組んでいく。 ※その他財源のその他は介護保険料他				
本年度決算額	15,250,175	その他財源の内訳				
区 分	決算額	分担金	0			
		負担金	0			
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
財源内訳	国・県支出金	5,977,938				
	地方債	0				
	その他	7,365,965				
	一般財源	1,906,272				
計	15,250,175	繰入金	271,223			
		贈収入	0			
		その他	7,094,742			
(参考)		評価結果	要介護認定者は増加傾向にあり、今後も介護給付費の増大が見込まれる。介護保険制度の持続可能性を確保するため、重篤化の予防や介護給付費の適正化に取り組んでいく。			
前年度決算額	14,908,697					

介002	項目名	介護予防サービス等諸費		
主要な施策	介護予防サービス等諸費	ページ	78	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計	<p>【問合せ先】介護保険係 0857-20-3452  【9次総の施策体系】3202  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P336（介002）</p> <p>【事業の概要】  介護保険は、加齢による病気等で介護が必要な人に対して介護サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念に基づき平成12年4月に創設された。介護予防サービス等諸費では、介護予防サービスを利用した要支援1～2の本市被保険者に対して、約9割を保険給付として支給する。</p> <p>①県国連合会からの一括請求に対して支払を行う。  （介護予防サービス費）・介護予防訪問介護・介護予防通所介護 など  （地域密着型介護予防サービス費）・介護予防小規模多機能型居宅介護 など</p> <p>②被保険者からの申請があった場合には支払を行う。  ・特定介護予防福祉用具販売 ・介護予防住宅改修費 ・高額介護予防サービス費</p> <p>【事業の成果】  介護予防サービスを利用し、要介護状態の軽減・悪化防止のための支援や日常生活の支援を受けながら、可能な限り住み慣れた地域での生活を継続するための支援が図られた。</p> <p>&lt;介護給付費の推移&gt;  平成24年度決算額 818,909千円（H24.3～25.2利用分）  平成25年度決算額 853,532千円（H25.3～26.2利用分）  平成26年度決算額 883,993千円（H26.3～27.2利用分）</p> <p>【今後の課題・方向性】  要支援認定者は増加傾向にあり、今後も介護予防給付費の増大が見込まれる。介護保険制度の持続可能性を確保するため、介護予防や介護給付費の適正化に取り組んでいく。  ※その他財源のその他は介護保険料他</p>			
（単位：千円）				
当初予算額	951,727			
補正予算額	△ 36,324			
予算流・充用額	0			
最終予算額	915,403	その他財源の内訳		
本年度決算額	883,993	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	15,858	
		贈収入	0	
		その他	411,118	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	346,518		
	地方債	0		
	その他	426,976		
	一般財源	110,499		
	計	883,993		
（参考）	評価結果			
前年度決算額	853,532	要支援認定者は増加傾向にあり、今後も介護予防給付費の増大が見込まれる。介護保険制度の持続可能性を確保するため、介護予防や介護給付費の適正化に取り組んでいく。		

介003	項目名	二次予防事業対象者把握事業費		
主要な施策	二次予防事業対象者把握事業費	ページ	78	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453  【9次総の施策体系】3102  【予算計上の経過】  当初予算・P337（介003）</p> <p>【事業の概要】  平成22年度の地域支援事業実施要綱の改正に伴い、要介護・要支援者を除く介護保険第1号被保険者全員に対し、基本チェックリスト等を実施し、要介護状態等となる恐れが高い高齢者を把握する。該当者が、要介護状態等に陥ることなく健康的な生活を在宅で送ることができるよう支援するため、おたっしや教室への参加勧奨を行う。</p> <p>【事業の成果】  二次予防事業対象者を把握することにより、介護予防教室等に参加奨励することができた。二次予防事業対象者 7,174人</p> <p>【今後の課題・方向性】  制度的な見直しが行われており、費用対効果を考慮し、全数配布によらない調査方法による実施を検討する。国の示す実施要綱を注視しながら、見直しを図っていく。  ※その他財源のその他は介護保険料他</p>			
（単位：千円）				
当初予算額	20,591			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	20,591	その他財源の内訳		
本年度決算額	13,627	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	6,814	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	5,110		
	地方債	0		
	その他	6,814		
	一般財源	1,703		
	計	13,627		
（参考）	評価結果			
前年度決算額	12,446	国の示す実施要綱を注視しながら見直しを図っていく。		

介004	項目名	おたっしや教室事業費		
主要な施策	通所型介護予防事業費	ページ	78	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計	【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453			
款 地域支援事業費	【9次総の施策体系】3102			
項 介護予防事業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P337 (介004)			
目 二次予防事業費	【事業の概要】 平成18年の介護保険法改正により、地域支援事業の介護予防事業二次予防事業の一環として、通所事業である本事業を開始。 ①運動指導等による転倒予防、失禁予防、筋力向上につながる各種運動の実施 ②栄養士及び歯科衛生士による食生活栄養相談及び口腔ケア指導			
(単位：千円)	【事業の成果】 運動機能等の低下が特に顕著に認められる高齢者を対象に、介護予防、閉じこもり防止を図るため、参加無料の通所型の教室を実施し、健康的に生活が送れるよう支援する。 実施会場 公民館型：教室(30か所) 参加人数：458人 健康増進施設型：教室(4施設) 参加人数：147人			
当初予算額	36,361	【今後の課題・方向性】 昨年度より参加者数は増加している。 今後は総合事業の実施に向けて、効率的な実施方法等について見直しを図る。		
補正予算額	△7,623	※その他財源のその他は介護保険料他		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	28,738	評価結果	総合事業の実施に向けた実施内容等の検討が必要である。	
本年度決算額	27,650	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	10,369	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	13,825	財産収入	0	
一般財源	3,456	寄付金	0	
計	27,650	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	13,825	

介005	項目名	高齢者健康教室事業費																		
主要な施策	介護予防普及啓発事業費	ページ	78	所 属 名																
年度	H26	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター																		
会計名	事業の概要																			
介護保険費特別会計	【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194																			
款 地域支援事業費	【9次総の施策体系】3102																			
項 介護予防事業費	【事業の概要】 高齢者を対象とした健康教育を実施することで介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、高齢者が介護予防のために自主的な活動ができるように支援する。																			
目 一次予防事業費	【事業の成果】																			
(単位：千円)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>494,940円</td> <td>441,466円</td> <td>630,280円</td> </tr> <tr> <td>高齢者健康教育(中央)</td> <td>285回</td> <td>282回</td> <td>285回</td> </tr> <tr> <td>介護予防測定</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>14回</td> </tr> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	決算額	494,940円	441,466円	630,280円	高齢者健康教育(中央)	285回	282回	285回	介護予防測定	12回	12回	14回
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																	
決算額	494,940円	441,466円	630,280円																	
高齢者健康教育(中央)	285回	282回	285回																	
介護予防測定	12回	12回	14回																	
当初予算額	702	【今後の課題・方向性】 高齢者健康教育やしゃんしゃん体操の普及をすることで、介護予防と健康寿命の延伸を図る。																		
補正予算額	0	※その他財源のその他は介護保険料他																		
予算流・充用額	△5	【参考】																		
最終予算額	697	評価結果	介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、高齢者が介護予防のために自主的な活動ができるように支援する。																	
本年度決算額	630	その他財源の内訳																		
区分	決算額	分担金	0																	
財源内訳		負担金	0																	
国・県支出金	236	使用料	0																	
地方債	0	手数料	0																	
その他	315	財産収入	0																	
一般財源	79	寄付金	0																	
計	630	繰入金	0																	
		贈収入	0																	
		その他	315																	

介006	項目名	地域ふれあい事業費																									
主要な施策	地域介護予防活動支援事業費	ページ	78																								
年度	H26	所属名																									
		福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター																									
会計名	事業の概要																										
介護保険費特別会計	<p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【事業の経過及び背景】 高齢化に伴い、要介護者の増加や老人医療費の増加が経済的・社会的問題となっている中で、高齢者の健康寿命をのばし、元気で活動的な高齢者を増やす取組が重要となっている。</p> <p>【事業の概要】 高齢者の健康寿命延伸のために活動的な高齢者を増やし、ふれあいのあるあたたかい地域づくりができるようにしゃんしゃん体操普及員を養成した。普及員の技術向上を図りながら、地区公民館や集会所を拠点に、体操の普及を継続して行う。</p> <p>（事業内容） ①しゃんしゃん体操普及員養成 ②しゃんしゃん体操の地域普及への支援 ③しゃんしゃん体操普及員連絡会への支援</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>273,833円</td> <td>303,156円</td> <td>304,653円</td> </tr> <tr> <td>連絡会加入普及員数</td> <td>246人</td> <td>246人</td> <td>260人</td> </tr> <tr> <td>継続実施箇所</td> <td>75箇所</td> <td>61箇所</td> <td>72箇所</td> </tr> <tr> <td>単発実施箇所</td> <td>149箇所</td> <td>103箇所</td> <td>167箇所</td> </tr> <tr> <td>延参加者</td> <td>34,235人</td> <td>33,632人</td> <td>36,105人</td> </tr> </table> <p>【今後の取り組み】 従来の活動に加え普及員の研修の充実を図る。また、認知症予防の希望が高まっている現状に対応するよう、認知症予防体操の開発の検討、普及のための媒体制作を行い普及する。</p> <p>その他財源のその他は介護保険料他</p>				平成24年度	平成25年度	平成26年度	決算額	273,833円	303,156円	304,653円	連絡会加入普及員数	246人	246人	260人	継続実施箇所	75箇所	61箇所	72箇所	単発実施箇所	149箇所	103箇所	167箇所	延参加者	34,235人	33,632人	36,105人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
決算額	273,833円	303,156円	304,653円																								
連絡会加入普及員数	246人	246人	260人																								
継続実施箇所	75箇所	61箇所	72箇所																								
単発実施箇所	149箇所	103箇所	167箇所																								
延参加者	34,235人	33,632人	36,105人																								
（単位：千円）																											
当初予算額	300																										
補正予算額	0																										
予算流・充用額	5																										
最終予算額	305	その他財源の内訳																									
本年度決算額	305	分担金	0																								
		負担金	0																								
		使用料	0																								
		手数料	0																								
		財産収入	0																								
		寄付金	0																								
		繰入金	0																								
		贈収入	0																								
		その他	153																								
区分	決算額																										
財源内訳	国・県支出金	114																									
	地方債	0																									
	その他	153																									
	一般財源	38																									
	計	305																									
（参考）	評価結果																										
前年度決算額	303	介護予防を目的とした高齢者の身近なふれあいの場として、地域で積極的に活動できる場を増やすため、今後も普及員を養成し、普及員の活動支援を図る。																									

介007	項目名	介護支援ボランティア事業費													
主要な施策	地域介護予防活動支援事業費	ページ	78												
年度	H26	所属名													
		福祉保健部 高齢社会課													
会計名	事業の概要														
介護保険費特別会計	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P338（介005）</p> <p>【事業の概要】 高齢者が、ボランティア活動を通じて地域貢献や社会参加をすることで、元気な高齢者が暮らす地域社会をつくることを目的とする。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ボランティア登録者（累計）</td> <td>ボランティア活動登録施設</td> </tr> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>27人</td> <td>67カ所</td> </tr> <tr> <td>平成25年度実績</td> <td>62人</td> <td>70カ所</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績</td> <td>107人</td> <td>75カ所</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 ボランティア登録者の増加を図り、より良い地域社会の形成を図っていく。</p> <p>※その他財源のその他は介護保険料他</p>				ボランティア登録者（累計）	ボランティア活動登録施設	平成24年度実績	27人	67カ所	平成25年度実績	62人	70カ所	平成26年度実績	107人	75カ所
	ボランティア登録者（累計）	ボランティア活動登録施設													
平成24年度実績	27人	67カ所													
平成25年度実績	62人	70カ所													
平成26年度実績	107人	75カ所													
（単位：千円）															
当初予算額	931														
補正予算額	△482														
予算流・充用額	0														
最終予算額	449	その他財源の内訳													
本年度決算額	142	分担金	0												
		負担金	0												
		使用料	0												
		手数料	0												
		財産収入	0												
		寄付金	0												
		繰入金	0												
		贈収入	0												
		その他	71												
区分	決算額														
財源内訳	国・県支出金	53													
	地方債	0													
	その他	71													
	一般財源	18													
	計	142													
（参考）	評価結果														
前年度決算額	129	総合事業の実施に向け、登録ボランティア数の増加等に取り組みながら継続して実施したい。													

介008	項目名	配食サービス事業費(一般高齢者分)		
主要な施策	地域自立生活支援事業費	ページ	79	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計	【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453			
款 地域支援事業費	【9次総の施策体系】3102			
項 任意事業費	【予算計上の経過】当初予算・P338(介006)			
目 その他事業費	【事業の概要】 独居等の高齢者にバランスのとれた食事を提供し、安否確認を行う必要があるため。調理が困難な在宅高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに安否確認を行い、地域の中で健康で自立した生活を送ることができるよう支援する ▽規則正しい食生活による生活スタイルの改善及び生活意欲の向上 ▽栄養士による食生活指導により自立した食生活の維持向上 ▽低栄養による身体機能低下の防止 ▽安否確認により利用者の変化をいち早く察知			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	16,146	利用者数	延利用食数	
補正予算額	△4,943	平成24年度決算額	15,502千円	138人 15,746食
予算流・充用額	0	平成25年度決算額	12,696千円	113人 12,898食
最終予算額	11,203	平成26年度決算額	10,365千円	91人 10,467食
本年度決算額	10,365	【今後の課題・方向性】 高齢者ができるだけ住み慣れた地域で生活していくことを支援するため、今後も実施していく。 ※その他財源のうちその他は、介護保険料 その他財源のうち諸収入は、利用料		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳	国・県支出金 3,120	評価結果	今後とも実施していく。	
	地方債 0	前年度決算額	12,695	
	その他 6,205			
	一般財源 1,040			
	計 10,365			

介009	項目名	ふれあいデイサービス事業費														
主要な施策	地域自立生活支援事業費	ページ	79	所 属 名												
年度	H26	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター														
会計名	事業の概要															
介護保険費特別会計	【問合せ先】予防係 0857-20-3191															
款 地域支援事業費	【9次総の施策体系】3102															
項 任意事業費	【事業の概要】 高齢者の生きがいと社会参加を促進し、家に閉じこもりがちな1人暮らしの老人等に対して各種サービスを提供する事により、孤立感の解消及び自立生活の助長、介護予防に資する事を目的とする。 ・対象者：概ね65歳以上の1人暮らしの者、在宅虚弱高齢者等 ・実施場所：地区公民館、町内会館等 ・実施方法：鳥取市社会福祉協議会へ委託 ・サービス内容：生活指導、健康チェック、講話、創作活動、レクリエーション等															
目 その他事業費	【事業の成果】															
(単位:千円)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>12,846,848円</td> <td>11,444,238円</td> <td>10,800,236円</td> </tr> <tr> <td>参加者延人数</td> <td>10,375人</td> <td>10,016人</td> <td>9,784人</td> </tr> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	決算額	12,846,848円	11,444,238円	10,800,236円	参加者延人数	10,375人	10,016人	9,784人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度													
決算額	12,846,848円	11,444,238円	10,800,236円													
参加者延人数	10,375人	10,016人	9,784人													
当初予算額	11,118	【今後の課題・方向性】 高齢化社会の進展とともに、1人暮らしの高齢者などに対応する福祉サービスは今後ますます重要度が増してくると考えられ、地域の各種団体の協力のもと継続実施を行う。 ※その他財源のその他は介護保険料														
補正予算額	0															
予算流・充用額	0															
最終予算額	11,118	【参考】														
本年度決算額	10,800	評価結果	地域包括ケアシステムが検討されている中、実施方法、実施主体等、今後、改善を検討する。													
区分	決算額															
財源内訳	国・県支出金 6,399															
	地方債 0															
	その他 2,268															
	一般財源 2,133															
	計 10,800															
前年度決算額	11,444															

介010	項目名	高齢者バス運賃優待助成事業費		
主要な施策	地域自立生活支援事業費	ページ	79	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	介護保険費特別会計			
款	地域支援事業費			
項	任意事業費			
目	その他事業費			
(単位：千円)				
当初予算額	10,362	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】当初予算・P339(介007) 【事業の概要】高齢者向け路線バスのフリーパス(因幡、架け橋、シルバー悠遊、グランド70)の購入費用の一部を助成し、閉じこもり予防と積極的な社会参加を促進する。 【事業の成果】実証実験を経て平成25年度からの制度開始以降、周知が進み利用者数も拡大している。 【事業の課題・方向性】高齢者の外出機会の拡充による一層の介護予防促進を図っていくため、さらなる周知に取り組むとともに、より利用しやすい制度となるよう継続的に検証・見直しを行う。 ※その他財源のその他は介護保険料		
補正予算額	1,572			
予算流・充用額	0			
最終予算額	11,934			
本年度決算額	10,527			
区分	決算額			
国・県支出金	6,237			
地方債	0			
その他	2,211			
一般財源	2,079			
計	10,527			
(参考)				
前年度決算額	10,727	評価結果	高齢者の外出機会の拡充による一層の介護予防促進を図っていくため、さらなる周知に取り組むとともに、より利用しやすい制度となるよう継続的に検証し、適宜見直しを行っていきたい。	

介011	項目名	安心ホットライン事業費										
主要な施策	地域自立生活支援事業費	ページ	79	所 属 名								
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課										
会計名	介護保険費特別会計											
款	地域支援事業費											
項	任意事業費											
目	その他事業費											
(単位：千円)												
当初予算額	12,675	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】地域包括ケア推進室 0857-20-3453 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】当初予算・P339(介008) 【事業の概要】ひとり暮らし高齢者等に対し、急病等による通報に随時(24時間・365日)対応するための体制を整備し、緊急事態の対応と不安軽減を図る。 【事業の成果】利用者が随時(24時間・365日)通報や相談ができるように、適切なアセスメントを行う専門的知識を有するオペレーターを配置し、通報があった場合は迅速かつ適切に対応する。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>設置台数</td> </tr> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>12,506千円 515台</td> </tr> <tr> <td>平成25年度実績</td> <td>12,645千円 504台</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績</td> <td>13,155千円 494台</td> </tr> </table> 【今後の課題・方向性】ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の継続のためには必要な事業であるため、今後も効率化等を検討しながら実施していく。 ※その他財源のうちその他は、介護保険料 その他財源のうち諸収入は、利用料				設置台数	平成24年度実績	12,506千円 515台	平成25年度実績	12,645千円 504台	平成26年度実績	13,155千円 494台
	設置台数											
平成24年度実績	12,506千円 515台											
平成25年度実績	12,645千円 504台											
平成26年度実績	13,155千円 494台											
補正予算額	634											
予算流・充用額	0											
最終予算額	13,309											
本年度決算額	13,155											
区分	決算額											
国・県支出金	6,687											
地方債	0											
その他	4,239											
一般財源	2,229											
計	13,155											
(参考)												
前年度決算額	12,644	評価結果	ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の継続のためには必要な事業であるため、今後も効率化等を検討しながら実施していく。									

財001	項目名	一般管理事務費(国府)	
主要な施策	一般管理事務費	ページ	81
年度	H26	所属名 総務部総務調整監 財産経営課	
会計名	事業の概要		
財産区管理事業費特別会計	【問合せ先】 財産政策第1係 0857-20-3851		
款 総務費	【9次総の施策体系】 0202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P340(財001)		
目 一般管理費	【事業の概要】 宇倍野財産区が所有している日ノ丸自動車株券(185,000株)を活用して、宇倍野財産区内の小・中・高校生に、定期券等の購入費の助成を実施し、保護者の負担を軽減する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 国府町宇倍野財産区住民の福祉の増進に資するため、財産区内の遠距離の児童及び生徒の定期券購入費の助成をすることにより、保護者の負担の軽減を図る。		
当初予算額 3,140	※助成率 ①小・中学生 市教委遠距離通学対象地区 保護者負担の10% 市教委遠距離通学対象外地区 保護者負担の30%		
補正予算額 △466	②高校生 大茅・成器地区 10% 宇倍野地区 16%		
予算流・充用額 0	平成24年度実績 3,408千円 定期券実績 219件 平成25年度実績 3,328千円 定期券実績 210件 平成26年度実績 2,650千円 定期券実績 176件		
最終予算額 2,674	【今後の課題・方向性】 国府町宇倍野財産区住民の福祉の増進に資するため、定期券購入費の助成をすることにより、保護者の負担の軽減を図っていく。		
本年度決算額 2,650	* その他財源の諸収入は、中・高校生等定期券販売収入。		
区分 決算額	【参考】		
国・県支出金 0	前年度決算額 3,328		
地方債 0	評価結果 国府町宇倍野財産区住民の福祉の増進に資するため、定期券購入費の助成をすることにより、保護者の負担軽減を図る。		
その他 2,650			
一般財源 0			
計 2,650			

財002	項目名	用瀬町川中樟原財産区造林費	
主要な施策	用瀬町川中樟原財産区造林費	ページ	81
年度	H26	所属名 総務部総務調整監 財産経営課	
会計名	事業の概要		
財産区管理事業費特別会計	【問合せ先】 財産政策第1係 0857-20-3851		
款 分収造林事業費	【9次総の施策体系】 0202		
項 森林総合研究所造林費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P341(財003)		
目 用瀬町川中樟原財産区造林費	【事業の概要】 昭和37年に旧森林開発公団(現独立法人森林総合研究所)の分収造林事業(水源林事業)を活用して森林造林事業を実施した財産区有林について、分収造林契約に基づき間伐などの防災・保育事業を実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 独立法人森林総合研究所の分収造林事業(水源林造林事業)を活用して森林造林事業を実施した財産区有林について、分収造林契約に基づき間伐などの防災・保育事業を実施した。実施事業・防災・保育間伐 4.58ha 平成24年度実績 672千円 平成25年度実績 0千円 平成26年度実績 760千円		
当初予算額 805	【今後の課題・方向性】 分収造林契約に基づき間伐などの防災・保育事業を実施し、水源林の機能維持と森林の付加価値を向上させる。		
補正予算額 0	* その他財源の負担金は、森林総合研究所造林費負担金。		
予算流・充用額 0	【参考】		
最終予算額 805	前年度決算額 0		
本年度決算額 760	評価結果 分収造林契約に基づき間伐などの防災・保育事業を実施し、水源林の機能維持と森林の付加価値を向上させる。		
区分 決算額			
国・県支出金 0			
地方債 0			
その他 760			
一般財源 0			
計 760			

温001	項目名	維持管理費	
主要な施策	維持管理費	ページ	83
年度	H26	所属名 経済観光部 観光戦略課	
会計名	事業の概要		
温泉事業費特別会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 温泉事業費	【9次総の施策体系】5201		
項 温泉事業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P342(温001)		
目 温泉管理費	【事業の概要】 浜村温泉、鹿野温泉の安定した温泉供給を図るため、配湯施設の維持管理等を適正に行う。(温泉施設設備点検、修繕等)		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 16,819千円 平成25年度 33,334千円 平成26年度 21,834千円		
当初予算額	23,496	【今後の課題・方向性】 温泉の安定供給のため、適正な維持管理に努める。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	23,496	評価結果 温泉の安定供給のため、適正な維持管理に努める。	
本年度決算額	21,834	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	5,616
国・県支出金	0	使用料	16,218
地方債	0	手数料	0
その他	21,834	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	21,834	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	33,334		

温002	項目名	長期借入金元金償還金	
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	83
年度	H26	所属名 経済観光部 観光戦略課	
会計名	事業の概要		
温泉事業費特別会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 公債費	【9次総の施策体系】5201		
項 公債費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P342(温002)		
目 元金	【事業の概要】 鹿野温泉の温泉集中管理施設整備に使用した温泉施設整備事業債の償還元金。 (平成30年度で完済)		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 21,786千円 平成25年度 21,822千円 平成26年度 56,702千円(温泉事業基金の繰入により繰上償還)		
当初予算額	21,858	【今後の課題・方向性】 計画的な償還を進めながら、必要に応じ繰り上げを行い期間短縮と利子負担軽減に努める。	
補正予算額	34,844	※その他財源のその他は、前年度繰越金	
予算流・充用額	0		
最終予算額	56,702	評価結果 計画的な償還を進めながら、必要に応じ繰り上げを行い期間短縮と利子負担軽減に努める。	
本年度決算額	56,702	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	34,168
地方債	0	手数料	0
その他	56,702	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	56,702	繰入金	18,162
		贈収入	0
		その他	4,372
(参考)			
前年度決算額	21,822		

温003	項目名	長期借入金利子償還金		
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	83	所 属 名
年度	H26	経済観光部 観光戦略課		
会計名	温泉事業費特別会計			
款	公債費			
項	公債費			
目	利子			
(単位：千円)				
当初予算額	1,360			
補正予算額	△ 262			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,098			
本年度決算額	1,098			
区 分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	1,098		
	一般財源	0		
	計	1,098		
その他の財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	1,098		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	0		
(参考)	前年度決算額	1,560		
評価結果	計画的な返済を進めるとともに、必要に応じ期間短縮と利子負担の軽減を図る。			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P343(温003) 【事業の概要】 鹿野温泉の温泉集中管理施設設備のため使用した温泉施設整備事業債の利息。 (平成30年度で完済) 【事業の成果】 平成24年度 1,864千円 平成25年度 1,560千円 平成26年度 1,098千円 【今後の課題・方向性】 計画的な返済を進めるとともに、必要に応じ期間短縮と利子負担の軽減を図る。				

観001	項目名	温泉施設管理費		
主要な施策	温泉施設管理費	ページ	85	所 属 名
年度	H26	経済観光部 観光戦略課		
会計名	観光施設運営事業費特別会計			
款	観光施設費			
項	観光施設事業費			
目	温泉施設管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	1,344			
補正予算額	1,118			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,462			
本年度決算額	2,061			
区 分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	358		
	一般財源	1,703		
	計	2,061		
その他の財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	358		
	その他	0		
(参考)	前年度決算額	4,458		
評価結果	当面指定管理者制度での運営を継続しながら、在り方検討を進める。			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P344(観001) 【事業の概要】 <浜村温泉館> 民間施設を平成14年度に気高町が取得、平成15年度から町営として開館。 <国民宿舎山紫苑> 昭和47年度設立された宿泊型温泉施設。平成6年度に施設を増床(新館)。 <しかの温泉館> 平成5年度設立された日帰り型温泉浴場施設。 いずれも指定管理者制度を導入しており、管理経費縮減と民間知識活用によるサービス向上を図るとともに、市民の保養と観光振興を目指す。 【事業の成果】 平成24年度 4,071千円 平成25年度 4,458千円 平成26年度 2,061千円(浜村温泉館サウナ改修) 【今後の課題・方向性】 当面指定管理者制度での運営を継続しながら、在り方検討を進める。 ※その他財源の諸収入は、建物災害共済金				

観002	項目名	長期借入金元金償還金																																			
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	85																																		
年度	H26	事業の概要																																			
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td>観光施設運営事業費特別会計</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>公債費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>公債費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>元金</td> </tr> </table> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>17,121</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>17,121</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td>17,121</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,546</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>11,575</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,121</td> </tr> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>65,931</td> </tr> </table>		会計名	観光施設運営事業費特別会計	款	公債費	項	公債費	目	元金	当初予算額	17,121	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	17,121	本年度決算額	17,121	区分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	5,546	一般財源	11,575	計	17,121	前年度決算額	65,931	<table border="1"> <tr> <td>所属名</td> <td>経済観光部 観光戦略課</td> </tr> </table> <p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P344(観002)</p> <p>【事業の概要】 山紫苑、浜村温泉館の増改築施設整備事業に使用した事業債償還元金。 ①山紫苑厚生福祉施設整備事業債(平成6年借入分：平成26年度完済) ②浜村温泉館改築事業債(平成15年借入：平成30年度完済) ③浜村温泉館改築事業債(平成16年借入：平成30年度完済)</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 63,742千円 平成25年度 65,931千円 平成26年度 17,121千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 計画的な償還を進める。</p> <p>※その他財源の諸収入は、ふるさと鹿野利益還元納付金</p>		所属名	経済観光部 観光戦略課
会計名	観光施設運営事業費特別会計																																				
款	公債費																																				
項	公債費																																				
目	元金																																				
当初予算額	17,121																																				
補正予算額	0																																				
予算流・充用額	0																																				
最終予算額	17,121																																				
本年度決算額	17,121																																				
区分	決算額																																				
国・県支出金	0																																				
地方債	0																																				
その他	5,546																																				
一般財源	11,575																																				
計	17,121																																				
前年度決算額	65,931																																				
所属名	経済観光部 観光戦略課																																				
<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>計画的な償還を進める。</td> </tr> </table>		評価結果	計画的な償還を進める。																																		
評価結果	計画的な償還を進める。																																				

観003	項目名	長期借入金利子償還金																																						
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	85																																					
年度	H26	事業の概要																																						
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td>観光施設運営事業費特別会計</td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>公債費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>公債費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>利子</td> </tr> </table> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>773</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>773</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td>480</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>480</td> </tr> </table> <p>(参考)</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>2,785</td> </tr> </table>		会計名	観光施設運営事業費特別会計	款	公債費	項	公債費	目	利子	当初予算額	773	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	773	本年度決算額	480	区分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	480	計	480	前年度決算額	2,785	<table border="1"> <tr> <td>所属名</td> <td>経済観光部 観光戦略課</td> </tr> </table> <p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P345(観003)</p> <p>【事業の概要】 山紫苑、浜村温泉館の増改築施設整備事業に使用した事業債償還利息。 ①山紫苑厚生福祉施設整備事業債(平成6年借入分：平成26年度完済) ②浜村温泉館改築事業債(平成15年借入：平成30年度完済) ③浜村温泉館改築事業債(平成16年借入：平成30年度完済)</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 5,096千円 平成25年度 2,785千円 平成26年度 480千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 計画的な償還を進める。</p>		所属名	経済観光部 観光戦略課	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>計画的な償還を進める。</td> </tr> </table>	評価結果	計画的な償還を進める。
会計名	観光施設運営事業費特別会計																																							
款	公債費																																							
項	公債費																																							
目	利子																																							
当初予算額	773																																							
補正予算額	0																																							
予算流・充用額	0																																							
最終予算額	773																																							
本年度決算額	480																																							
区分	決算額																																							
国・県支出金	0																																							
地方債	0																																							
その他	0																																							
一般財源	480																																							
計	480																																							
前年度決算額	2,785																																							
所属名	経済観光部 観光戦略課																																							
評価結果	計画的な償還を進める。																																							

介老001	項目名	長期借入金元金償還金		
主要な施策	長期借入金元金償還金	ページ	87	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護老人保健施設事業費特別会計		<p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-203451</p> <p>【9次総の施策体系】0202</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P346（介老001）</p> <p>【事業の概要】 介護老人保健施設やすらぎの施設整備に伴い、財政融資資金の借入を行っている</p> <p>【事業の成果】 介護老人保健施設やすらぎ（平成18年度指定管理者制度導入）の整備にあたって財政融資資金の借入を行っており、その長期借入金元金償還金（平成33年度まで）</p> <p>○決算額の推移 平成20年度 38,787千円 平成21年度 40,950千円 平成22年度 43,233千円 平成23年度 45,643千円 平成24年度 48,188千円 平成25年度 50,875千円 平成26年度 53,711千円</p> <p>○市債残高の推移 平成19年度 791,245千円 平成20年度 752,458千円 平成21年度 711,510千円 平成22年度 668,277千円 平成23年度 622,634千円 平成24年度 574,446千円 平成25年度 523,571千円 平成26年度 469,861千円 ※その他財源は諸収入（起債償還負担金）</p> <p>【今後の課題・方向性】 償還年度まで支払い事務を行う。</p>		
款	公債費			
項	公債費			
目	元金			
(単位：千円)				
当初予算額	53,711			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	53,711	その他財源の内訳		
本年度決算額	53,711	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	40,000	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	40,000		
	一般財源	13,711		
	計	53,711		
(参考)				
前年度決算額	50,874	評価結果	返済までに着実に償還を実施していく。	

介老002	項目名	長期借入金利子償還金		
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	87	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
介護老人保健施設事業費特別会計		<p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【9次総の施策体系】0202</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P346（介老002）</p> <p>【事業の概要】 介護老人保健施設やすらぎの整備に伴い、財政融資資金の借入を行っている。</p> <p>【事業の成果】 介護老人保健施設やすらぎ（平成18年度指定管理者制度導入）の整備にあたって財政融資資金の借入を行っており、その長期借入金利子償還を行った</p> <p>平成26年度利子償還額 28,068千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 償還最終年度まで行う。</p>		
款	公債費			
項	公債費			
目	利子			
(単位：千円)				
当初予算額	28,068			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	28,068	その他財源の内訳		
本年度決算額	28,068	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	23	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	23		
	一般財源	28,045		
	計	28,068		
(参考)				
前年度決算額	30,905	評価結果	返済までに着実に償還を実施していく。	

後001	項目名	後期高齢者医療広域連合納付金		
主要な施策	後期高齢者医療広域連合納付金	ページ	89	所 属 名
年度	H26	福祉保健部 保険年金課		
会計名		事業の概要		
後期高齢者医療費特別会計		【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487		
款	後期高齢者医療広域連合納付金	【9次総の施策体系】3202		
項	後期高齢者医療広域連合納付金	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P376（後001）		
目	後期高齢者医療広域連合納付金	【事業の概要】 鳥取県後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者医療に要する費用に充てるため、広域連合に対し、繰入金及び保険料等徴収金を納付するもの。		
(単位：千円)		【事業の成果】		
当初予算額	1,877,144	(1) 保険料等負担金		
補正予算額	△ 35,761	平成24年度 1,363,226,421円 平成25年度 1,380,441,515円 平成26年度 1,409,320,925円		
予算流・充用額	0	(2) 保険料等負担金（保険基盤安定）		
最終予算額	1,841,383	平成24年度 384,973,705円 平成25年度 390,150,373円 平成26年度 417,577,154円		
本年度決算額	1,826,898	【今後の課題・方向性】 後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。 ※その他財源の諸収入は、延滞金 ※その他財源のその他は、後期高齢者医療保険料他		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳		評価結果		
国・県支出金	0	後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。		
地方債	0	評価結果		
その他	1,409,321	後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。		
一般財源	417,577	後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。		
計	1,826,898	後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。		
前年度決算額	1,770,592	後期高齢者の増加に伴い納付金は増加の見込みであり、制度の円滑な運営のため今後も保険料の適正な収納に努めていく。		

電001	項目名	青谷町いかり原維持管理費		
主要な施策	維持管理費	ページ	91	所 属 名
年度	H26	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
電気事業費特別会計		【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218		
款	総務費	【9次総の施策体系】4101		
項	総務管理費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P348（電001）		
目	維持管理費	【事業の概要】 青谷町いかり原太陽光発電施設に係る維持管理業務を行う。 ・電気通信料 ・法定点検 ・公課費（消費税及び地方消費税） ・機械警備委託業務等		
(単位：千円)		【事業の成果】 維持管理等について適切に実施し、年間を通じて安定的に発電が行われ、ほぼ想定通りの売電収入（23,318,621円）を得た。		
当初予算額	3,248	【今後の課題・方向性】 今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努め、引き続き安全で安定的な発電を実施していく。		
補正予算額	△ 42	* その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	3,206	評価結果		
本年度決算額	2,686	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
国・県支出金	0	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
地方債	0	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
その他	2,686	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
一般財源	0	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
計	2,686	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		
前年度決算額	2,419	鳥取市青谷町いかり原太陽光発電所は平成26年3月に整備を終えている。今後は電気事業の円滑な運営及び適切な維持管理に努めていく。		

電002	項目名	積立金		
主要な施策	積立金	ページ	91	所 属 名
年度	H26	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
電気事業費特別会計		【問合せ先】 環境政策係0857-20-3218		
款	積立金	【9次総の施策体系】 4101		
項	積立金	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P348（電002）		
目	積立金	【事業の概要】 鳥取市青谷町いかり原太陽光発電事業の売電収入について、維持管理費を除いた剰余金を基金として積み立てることにより、円滑な電気事業の推進を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】 予定額を適切に積み立てた。		
当初予算額	15,778	【今後の課題・方向性】 今後も基金運営につき、適切に対応する。		
補正予算額	14,032	* その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入・消費税に係る還付金。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	29,810	【その他の課題・方向性】 今後も基金運営につき、適切に対応する。		
本年度決算額	29,810	* その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入・消費税に係る還付金。		
区分		その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	29,810	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	29,810	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収	29,810
			その他	0
(参考)		評価結果	今後も基金運営につき、適切に対応する。	
前年度決算額	0			

電003	項目名	長期借入金利子償還金		
主要な施策	長期借入金利子償還金	ページ	91	所 属 名
年度	H26	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
電気事業費特別会計		【問合せ先】 環境政策係 0857-20-3218		
款	公債費	【9次総の施策体系】 4101		
項	公債費	【予算計上の経過】 予算事業別概要 該当なし		
目	利子	【事業の概要】 鳥取市青谷町いかり原太陽光発電事業に係る長期借入金利子償還（平成26～42年度） 平成26～28年度：利子のみ 平成29～42年度：利子＋元金		
(単位：千円)		【事業の成果】 償還計画に基づき、電気事業債借入金に対する償還を行った。		
当初予算額	2,370	【今後の課題・方向性】 今後とも、償還計画に基づき適切に償還を行い、電気事業会計の適正な運用に努めていく。		
補正予算額	△ 447	* その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,923	【その他の課題・方向性】 今後とも、償還計画に基づき適切に償還を行い、電気事業会計の適正な運用に努めていく。		
本年度決算額	1,923	* その他財源の諸収入は、太陽光発電所売電収入。		
区分		その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	1,923	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	1,923	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収	1,923
			その他	0
(参考)		評価結果	今後とも、償還計画に基づき適切に償還を行い、電気事業会計の適正な運用に努めていく。	
前年度決算額	0			

